

デジタルHDビデオ カメラレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故に
なることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを
示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDV
HDV 1080i

Mini DV
Digital Video Cassette

MEMORY STICK™

InfoLITHIUM™
SERIES

HDMI

HVR-HD1000J

使用前に必ずお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。

本機で使えるカセットについて

Mini DV マーク付きミニDVカセットが使えます。カセットメモリー機能には非対応です(詳しくは81ページ)。

HDV規格とは

DV規格カセットにデジタルハイディフィニション(HD)映像の記録・再生ができます。

HDV映像信号の圧縮方式は、BSデジタルや地上デジタルのハイビジョン放送やブルーレイディスクレコーダーで採用されているMPEG2方式です。

本機で使える“メモリースティック”について

本機では次のマークのついた“メモリースティック”が使えます。

- **MEMORY STICK Duo** (“メモリースティック デュオ”)
- **MEMORY STICK PRO Duo** (“メモリースティック PRO デュオ”)
- **MEMORY STICK PRO-HG Duo** (“メモリースティック PRO-HG デュオ”)

“メモリースティック デュオ” (本機で使用するサイズ)



“メモリースティック”
(本機では使用できません)



- “メモリースティック デュオ”以外のメモリーカードは使用できません。
- “メモリースティック PRO デュオ”は“メモリースティック PRO”対応機器でのみ使用可能です。

- “メモリースティック デュオ”本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどは貼らないでください。

“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器で使用する場合

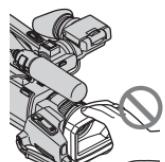
必ず“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。

メモリースティック デュオ アダプター



故障や破損の原因となるため、特にご注意ください。

- 次の部分をつかんで持たないでください。



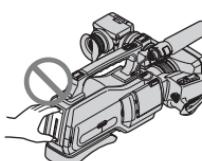
レンズフード



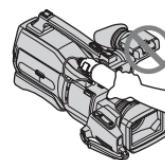
パネルEVFブロック



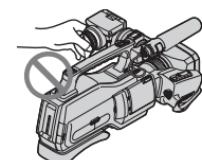
液晶パネル



バッテリー



マイク



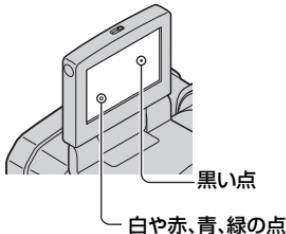
ファインダー

- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「本機の取り扱いについて」もご覧ください(85ページ)。

- 本機をケーブル類で他機と接続するときは、端子の向きを確認して接続してください。無理に押し込むと端子部の破損、または本機の故障の原因になります。

メニュー項目、液晶画面、ファインダーおよびレンズについてのご注意

- 灰色で表示されるメニュー項目は、その撮影／再生条件では使えません(同時に選べません)。
- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えなかつたりすることがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けてまますと故障の原因になります。
- 直接太陽を撮影しないでください。故障の原因になります。夕暮れ時の太陽など光量の少ない場合は撮影できます。

録画/録音に際してのご注意

- 事前にためし撮りをして、正常な録画/録音を確認してください。
- 万一、ビデオカメラレコーダーや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかつた場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたがビデオで録画/録音したもののは個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

- 撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、以下の現象が発生する場合があります。

- 撮影条件によっては、画面をすばやく横切る被写体が少しづがんで見える(特に、動解像度表現に優れたモニタなどの場合)。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると、画面に横筋が見える。このような場合は、シャッタースピードを調整することで現象が軽減されます(36ページ)。
- 被写体にフラッシュ(別売り)を当てると、画面が上下分割されたように見える。このような場合は、スローシャッターを含めたなるべく遅いシャッタースピードで撮影すると画面が分割されて見える確率が下がる可能性があります。

本機やバッテリーの温度に関するご注意

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために撮影や再生ができなくなることがあります。この場合は、本機の液晶画面およびファインダーにメッセージが表示されます(77ページ)。

他機での再生に際してのご注意

HDV規格で記録したテープは、DV規格のビデオカメラやミニDVデッキでは再生できません(青一色の画面になります)。
他機で再生する前に本機で再生して、テープの内容を確認することをおすすめします。

本書で使うマークについて

HDV1080i HDV規格だけで使える機能です。
DV DV規格だけで使える機能です。

本書について

- 画像の例としてスチルカメラによる写真を使っています。画像や本機の画面表示は、実際に見えるものとは異なります。
- 記録メディアやアクセサリーの仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

カール ツアイスレンズ搭載

本機はカール ツアイスレンズを搭載し、繊細な映像表現を可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツアイスとソニーで共同開発した、MTF測定システムを用いてその品質を管理され、カール ツアイスレンズとしての品質を維持しています。

さらに本機はT*コーティングを採用しており、不要な反射を抑え、忠実な色再現性を実現しております。

MTF=Modulation Transfer Functionの略。
コントラストの再現性を表す指標です。被写体のある部分の光を、画像の対応する位置にどれだけ集められるかを表す数値。

目次

使用前に必ずお読みください 2

準備する

準備 1:付属品を確かめる	7
準備 2:付属のマイクとアイカップ、レンズフードを取り付ける	8
準備 3:バッテリーを充電する	10
準備 4:電源を入れて日付時刻を合わせる	13
準備 5:撮影前の調節をする	14
準備 6:カセットや“メモリースティック デュオ”を入れる	15



撮る/見る

撮る	17
ズームする	19
テープ撮影中に高画素の静止画を記録する(デュアル記録)	19
カメラコントロールリング(RING)でマニュアル調節する	20
暗い場所で撮る(NightShot)	20
逆光を補正する	21
自分撮り(対面撮影)する	21
見る	22
再生ズームする	24
テープの頭出しをする	24
最後に録画した場面を頭出しする(エンドサーチ)	24
テープを停止した場面を確認する(レックレビュー)	25
テレビにつないで見る	25
ハイビジョンテレビとの接続方法	26
ワイドテレビ /4:3 テレビとの接続方法	28

メニューで設定を変更する

メニューの使いかた	31
メニュー一覧	32
CAMERA SET メニュー	34
撮影状況に合わせるための設定	
MEMORY SET メニュー	40
“メモリースティック デュオ”に関する設定	
PICT.APPLI. メニュー	43
画像への特殊効果追加や、応用的な撮影/再生機能	
EDIT/PLAY メニュー	46
編集/变速再生の設定	
STANDARD SET メニュー	47
テープ撮影時の設定や、各種基本設定	
TIME/LANGU. メニュー	53
パーソナルメニューを変更する	53

ダビングや編集をする

ビデオ、DVD/HDD レコーダーへダビングする	55
ビデオの画像を本機で録画する	58
テープの画像を“メモリースティック デュオ”に取り込む	60
“メモリースティック デュオ”的画像を消す	60
“メモリースティック デュオ”的画像にマークをつける(プリントマーク/プロジェクト)	61
記録した画像を印刷する(PictBridge 対応プリンター)	62

目次(つづき)

パソコンとつなぐ

パソコンと接続する	64
静止画をパソコンに取り込む	64
テープの動画をパソコンに取り込む	67

困ったときは

故障かな?と思ったら	70
警告表示とお知らせメッセージ	77

その他

海外で使う	80
使用上のご注意とお手入れ.....	81
HDV 規格と記録・再生について	81
“メモリースティック”について	82
InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて	83
i.LINK(アイリンク)について	84
x.v.Color(エックスブイ・カラー)について	85
本機の取り扱いについて	85
主な仕様.....	89
保証書とアフターサービス.....	91

各部のなまえ・索引

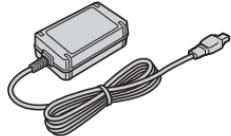
各部のなまえ	92
画面表示.....	95
索引.....	98

準備する

準備1:付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
()内は個数。

ACアダプター(1)(10ページ)



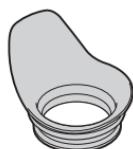
電源コード(1)(10ページ)



A/V接続ケーブル(1)(25、55ページ)



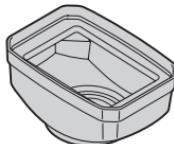
アイカップ(1)



リチャージャブルバッテリーパック
NP-F570(1)(10、83ページ)



レンズフード(1)

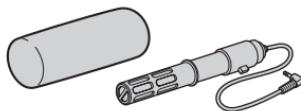


レンズキャップ(1)



ウインドスクリーン(1)(8ページ)

マイク(1)(8ページ)



CD-ROM「Manuals for Digital HD Video Camera Recorder」(1)

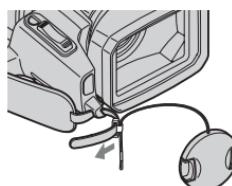
取扱説明書(2)

保証書(1)

ソニー業務用商品相談窓口のご案内(1)

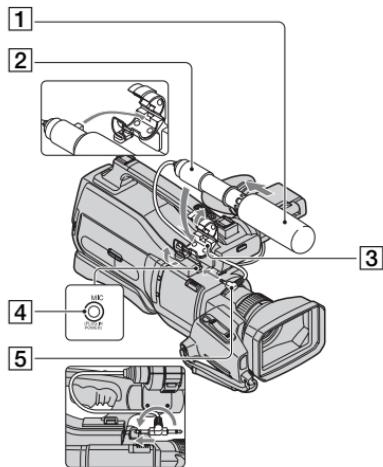
グリップベルトにレンズキャップを取り付けるには

グリップベルトをはずし、レンズキャップのストラップについている取り付け部に通してから、グリップベルトを取り付け直す。



準備 2:付属のマイクとアイカップ、レンズフードを取り付ける

マイクを取り付ける



1 付属のマイク②にウインドスクリーン①をかぶせる。

2 マイクホルダー③のロックをはずし、カバーを開ける。

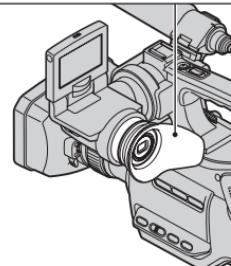
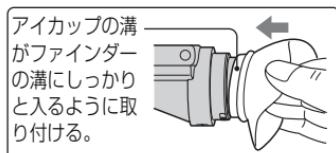
3 マイクの凸部がマイクホルダーの凹部に合うようにマイクをマイクホルダーに入れ、カバーを閉じてマイクホルダーをロックする。

マイクの▲マークとマイクホルダーの■マークが向かい合っていることを確認する。

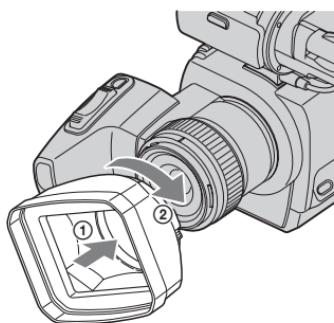
4 マイクケーブルを矢印の方向に180°回して(⑤)、マイク端子④につなぐ。

アイカップを取り付ける

ファインダーの溝に合わせてアイカップを取り付ける。アイカップは左右のどちらの向きでも取り付けることができます。

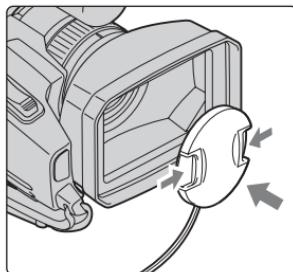


レンズフードを取り付ける



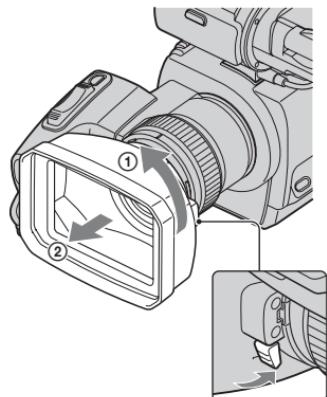
レンズキャップを取り付ける

レンズキャップの両端のノブを押しながら取り付ける。



本機とレンズフードの印を合わせて、矢印の方向に回す。

レンズフードを取りはずすには

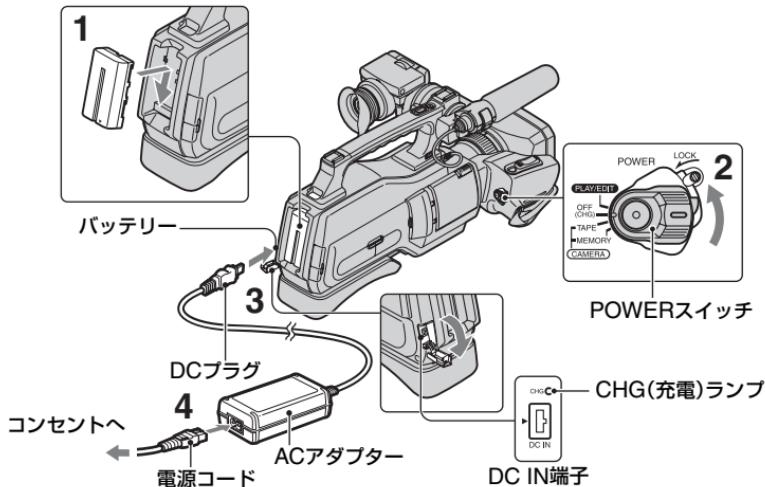


レンズフード取りはずしレバーを押しながら、レンズフードを矢印の方向に回す。

ちょっと一言

- 直径37ミリの偏光フィルターや保護フィルターの取り付け、取りはずし、調整をするときは、レンズフードを取りはずしてください。

準備 3: バッテリーを充電する



専用の“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)(83ページ)を本機に取り付け
て充電します。

● ご注意

- ・“インフォリチウム”バッテリーLシリーズ以外
は使えません。

1 バッテリーを取り付ける。

バッテリーを「カチッ」というまで矢印
の方向にずらして、取り付ける。

2 POWERスイッチを「OFF (CHG)」(お買い上げ時の設定) にする。

3 DCプラグの▲マークを本体の▲ マーク側にして、ACアダプターを 本機のDC IN端子につなぐ。

4 電源コードをACアダプターとコ ンセントにつなぐ。

CHG(充電)ランプが点灯し、充電が始
まります。充電が終了すると、CHG(充
電)ランプが消えます(満充電)。

● ご注意

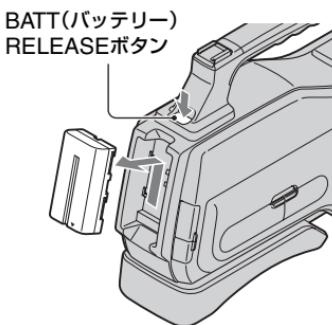
- ・DCプラグを本機のDC IN端子から抜くとき
は、DCプラグと本機を持って抜いてください。

✿ ちょっと一言

- ・図のように接続して、コンセントからの電源で
本機を使うこともできます。バッテリーを取り
付けたままでバッテリーは消耗しません。

バッテリーを取りはずすには

POWERスイッチを「OFF(CHG)」にする。BATT(バッテリー)RELEASEボタンを押して、バッテリーを取りはずす。

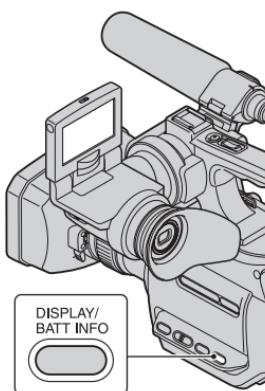


保管するときは

長い間使わないときは、バッテリーを使い切ってから保管する(84ページ)。

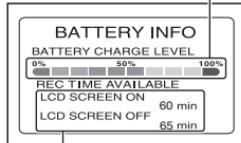
バッテリーの残量を確認するには

POWERスイッチを「OFF(CHG)」にしたあと、DISPLAY/BATT INFOボタンを押す。



しばらくすると、バッテリーの情報が約7秒間表示されます。情報が表示されている間にボタンを押すと、最大20秒まで表示を延長できます。

およそのバッテリー残量



およその撮影可能時間

バッテリー残量は本機の液晶画面上で以下のように表示されます。

残量表示	バッテリー残量の目安
	充分ある。
	少なくなった。撮影、再生がもうすぐできなくなる。
	充電済みのバッテリーと交換するか、充電する。

充電時間

使い切った状態からのおよその時間(分)。

バッテリー型名	満充電時間
NP-F570(付属)	260
NP-F770	450
NP-F970	630

撮影可能時間

満充電からのおよその時間(分)。

HDV規格で撮影したとき

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-F570(付属)	180	95
	200	105
NP-F770	375	200
	410	220
NP-F970	555	295
	605	325

準備3:バッテリーを充電する(つづき)

DV規格で撮影したとき

バッテリー型名	連続撮影時	実撮影時*
NP-F570(付属)	190	105
	205	115
NP-F770	390	220
	425	240
NP-F970	580	330
	630	355

* 実撮影時とは、撮影スタンバイ、POWERスイッチの切り換え、ズームなどを繰り返したときの時間です。

④ ご注意

- それぞれの時間は、次の条件によるものです。
上段:液晶画面の電源を入れて撮影したとき
下段:液晶画面の電源を切ってファインダーを使用したとき
- ファインダーの電源は切れません。

再生可能時間

満充電からのおよその時間(分)。

HDV規格の画像を再生したとき

バッテリー型名	液晶画面で再生	液晶画面を閉じて再生
NP-F570(付属)	260	295
NP-F770	540	605
NP-F970	780	890

DV規格の画像を再生したとき

バッテリー型名	液晶画面で再生	液晶画面を閉じて再生
NP-F570(付属)	280	315
NP-F770	570	650
NP-F970	830	950

バッテリーについて

- バッテリーの交換は、POWERスイッチを「OFF(CHG)」にしてから行ってください。
- 次のとき、充電中のCHG(充電)ランプが点滅したり、BATTERY INFO(11ページ)が正しく表示されないことがあります。
 - バッテリーを正しく取り付けていないとき
 - バッテリーが故障しているとき
 - バッテリーが劣化しているとき(BATTERY INFO表示のみ)
 - バッテリーの温度が低いとき
バッテリーをはずして暖かいところに置いてください。
 - バッテリーの温度が高いとき
バッテリーをはずして涼しいところに置いてください。
- 電源コードをコンセントから抜いても、ACアダプターが本機のDC IN端子につながっている限り、バッテリーからは電源供給されません。

充電/撮影/再生時間について

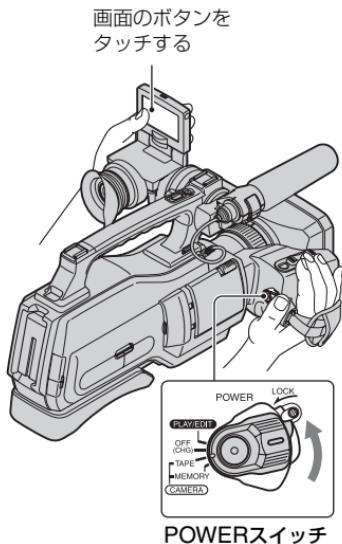
- 25°C(10°C~30°Cが推奨)で使用したときの時間です。
- 低温の場所で使うと、撮影/再生可能時間はそれぞれ短くなります。
- 使用状態によって、撮影/再生可能時間はそれぞれ短くなります。

ACアダプターについて

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターのDCプラグやバッテリー端子を金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

準備 4: 電源を入れて日付時刻を合わせる

初めて電源を入れたときは日付、時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れたり、POWERスイッチを切り換えるたびに[CLOCK SET]画面が表示されます。



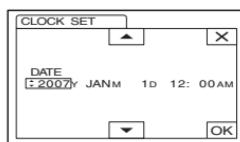
1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを矢印の方向へずらして、TAPE、またはMEMORYに合わせる。

「TAPE」：テープに撮影時

「MEMORY」：“メモリースティック デュオ”に撮影時

「PLAY/EDIT」：再生や編集時

日時あわせ画面が表示される。



2 ▲/▼で[Y]を合わせ、OKをタッチする。

2079年まで設定できます。

3 同様に、[M]、[D]、時、分を合わせ、OKをタッチする。

真夜中は12:00AM、正午は12:00PMです。

時計が動き始めます。

電源を切るには

POWERスイッチをずらして、「OFF (CHG)」にする。

日付時刻を設定し直すときは

[P]MENU → [MENU] → ① TIME / LANGU. → [CLOCK SET] で設定できます(31ページ)。

● ご注意

- 3か月近く使わないでおくと内蔵の充電式電池が放電して、日付、時刻の設定が解除されます。充電式電池を充電してから設定し直してください(88ページ)。
- 画面表示は日本語に設定できません。

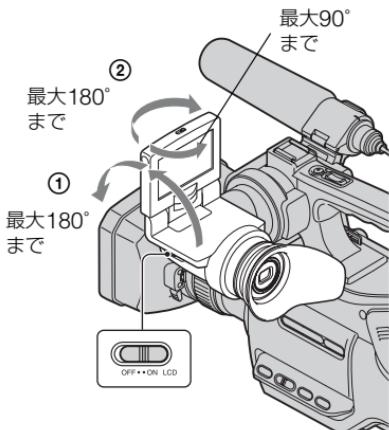
● ちょっと一言

- 日付時刻は撮影時には表示されません。自動的にテープに記録され、再生時に表示させることができます([DATA CODE])、51ページ)。
- 反応する液晶画面のボタンの位置がずれているときはタッチパネルを調節(CALIBRATION)してください(87ページ)。

準備 5:撮影前の調節をする

液晶画面を見やすく調節する

液晶画面を開き(①)、見やすい角度に調節する(②)。



液晶画面の電源を切るには

LCD ON/OFFスイッチを「OFF」にする。バッテリーを長持ちさせたいときに効果的です。録画される画像には影響ありません。液晶画面の電源を入れるには、「ON」にしてください。

⌚ ご注意

- LCD ON/OFFスイッチを「OFF」にすると、タッチパネルの操作が行えません。

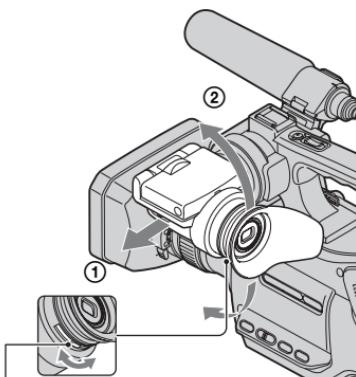
⌚ ちょっと一言

- 液晶画面をレンズ側に180°回転させると、外側に向けて本体に収められます。再生時に便利です。
- 液晶画面の明るさは、[LCD/VF SET] – [LCD BRIGHT] (49ページ)で調節できます。
- DISPLAY/BATT INFOボタンを押すたびに、バッテリー残量などの情報が表示 ⇔ 非表示と切り替わります。

ファインダーを見やすく調節する

パネルEVFブロックを引き出して位置を調節し(①)、ファインダーを見やすい角度に調節する(②)。

バッテリー切れが心配なときや液晶画面で画像を見づらいときなどは、ファインダーで画像を見るることもできます。



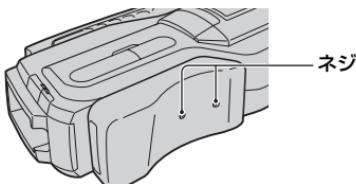
視度調整つまり
画像がはっきり見える
ように動かす

⌚ ちょっと一言

- ファインダーのバックライトの明るさは、メニューの[LCD/VF SET] – [VF B.LIGHT]で設定できます (49ページ)。

ショルダーパッドを調節する

ショルダーパッドのネジをゆるめるると、位置を調節できます。調節が終わったら、ネジを締めてください。



準備 6: カセットや“メモリースティック デュオ”を入れる

カセットを入れる

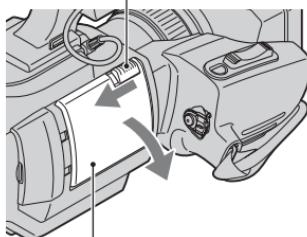
Mini DV マーク付きミニDVカセットのみ使
えます(81ページ)。

ご注意

- ・[REC MODE]によって、録画可能時間は異なります(48ページ)。DV

1 ▶ OPEN/EJECT つまみを矢印の方向にずらしたまま、カセットカバーを開ける。

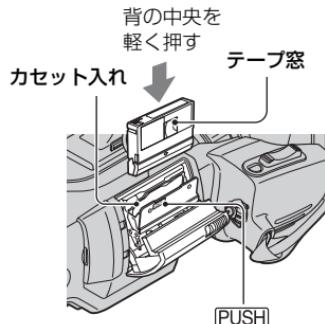
▶ OPEN/EJECT つまみ



カセットカバー

カセット入れが自動的に出て開きま
す。

2 テープ窓を外側にして、カセット を入れ、PUSH マークを押す。



カセット入れが自動的に収納されま
す。

3 カセットカバーを手で閉める。

カセットを取り出すには

手順1と同じ操作でカセットカバーを開け
て、カセットを取り出す。

ご注意

- ・カセット入れが引き込まれているときに
[DO NOT PUSH] の刻印部分を押さないでくだ
さい。無理に押し込むと故障の原因になりま
す。

準備6:カセットや“メモリースティック デュオ”を入れる(つづき)

“メモリースティック デュオ” を入れる

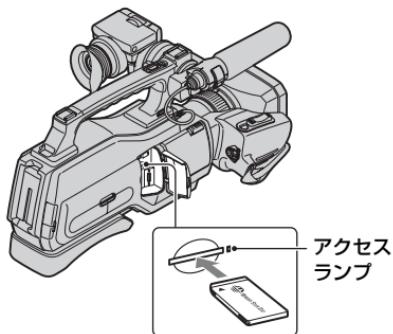
MEMORY STICK DUO、MEMORY STICK PRO DUO
マーク付き“メモリースティック デュオ”のみ使えます(82ページ)。

✿ ちょっと一言

- 画質や画像サイズによって撮影可能枚数は異なります。撮影枚数については41ページをご覧ください。

1 端子カバーを開ける。

2 “メモリースティック デュオ”を 正しい向きに、「カチッ」というま で押し込む。



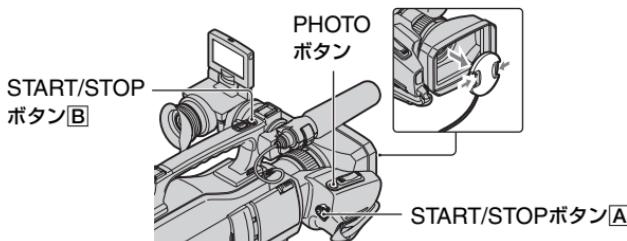
“メモリースティック デュオ”を取り 出すには

“メモリースティック デュオ”を軽く1回押して取り出す。

✿ ご注意

- アクセスランプの点灯中や点滅中は、データの読み込みや書き込みを行っています。本機に振動や強い衝撃を与えないでください。また、電源を切ったり、“メモリースティック デュオ”やバッテリーを取りはずしたりしないでください。画像データが壊れることがあります。
- 誤った向きで無理に入れると、“メモリースティック デュオ”や“メモリースティック デュオ”スロット、画像データが破損することがあります。
- 出し入れ時には“メモリースティック デュオ”的飛び出しにご注意ください。

撮る



動画を撮る



テープに動画を記録できます。

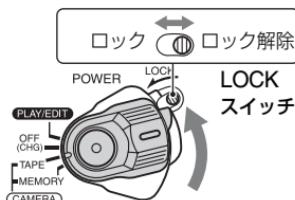
撮る/見る

1 両端のノブを押しながらレンズキャップを取りはずす。

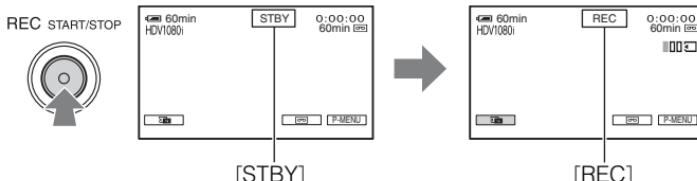
2 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチをずらして、「TAPE」に合わせる。

LOCKスイッチについて

LOCKスイッチをロック側にする(POWERスイッチ側にすらす)と、POWERスイッチが誤って「MEMORY」になることを防げます(お買い上げ時はロック解除側になっています)。



3 START/STOPボタンA(またはB)を押す。



撮影をやめるときは、START/STOPボタンをもう1度押す。

ちょっと一言

- お買い上げ時にはHDV規格で撮影するように設定されています(48ページ)。

撮る(つづき)

テープ撮影中に高画素の静止画を記録するには(デュアル記録)
詳しくは、19ページをご覧ください。

静止画を撮る



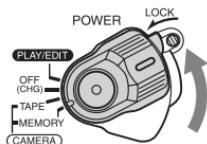
“メモリースティック デュオ”に静止画を記録できます。

1

両端のノブを押しながらレンズキャップを取りはずす。

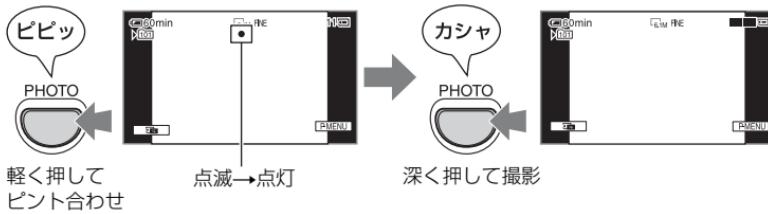
2

緑のボタンを押しながら、POWERスイッチをずらして、「MEMORY」に合わせる。



3

PHOTOボタンを押す。



「カシャ」と鳴り、■■■が消えると記録される。

“メモリースティック デュオ”に記録した画像をすぐに確認する

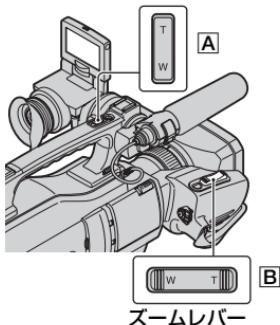
[■]をタッチする。画像を消すには、[■]→[YES]をタッチする。

✿ ちょっと一言

・画質や画像サイズ、撮影可能枚数については、40ページをご覧ください。

ズームする

10倍までズームできます。
倍率はズームレバーで調節します。



望遠:Telephoto(テレフォト)



広角:Wide(ワイド)

ズームレバー[B]を軽く押すとゆっくり、
さらに押すと速くズームする。

⌚ ご注意

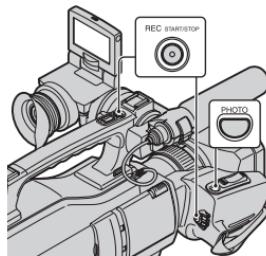
- ズームレバーから指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバーの操作音が記録されることがあります。
- ズームレバー[A]ではズームする速さを変えることはできません。
- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

💡 ちょっと一言

- [DIGITAL ZOOM](39ページ)を使うと、10倍を超えたズームを使えます。
- カメラコントロールリング(RING)でも手動で調節できます(20ページ)。

テープ撮影中に高画素の静止画 を記録する(デュアル記録)

テープ撮影中に、“メモリースティックデュオ”に鮮明な画像を記録できます。



① POWERスイッチを「TAPE」にして START/STOPボタンを押し、テープ撮影を開始する。

② PHOTOボタンを深く押す。
1度のテープ撮影中に、最大3枚の静止画を記憶できる。



記憶枚数表示
記憶されると
オレンジ色に
変わります。

③ START/STOPボタンを押してテープ撮影を終了する。

記憶していた静止画が1枚ずつ表示され、“メモリースティック デュオ”に記録される。■■■■が消えると記録が完了する。

⌚ ご注意

- デュアル記録をしたときは、テープ撮影を終了して“メモリースティック デュオ”への記録が完了するまで、本機から“メモリースティック デュオ”を抜かないでください。

💡 ちょっと一言

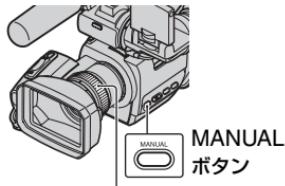
- POWERスイッチが「TAPE」のとき、静止画の画像サイズは、HDV規格で撮影中は4.6Mで、DV規格で撮影中は3.4M(4:3)、または4.6M(16:9)で記録されます。

撮る(つづき)

- 撮影スタンバイ中はPOWERスイッチを「MEMORY」にしたときと同様に、「メモリー スティック デュオ」に静止画を記録できます。

カメラコントロールリング(RING)でマニュアル調節する

よく使うメニュー項目をカメラコントロールリング(RING)に割り当てる便 利です。ここでは[FOCUS](お買い上げ 時の設定)が割り当てられているときの説 明をします。



カメラコントロールリング(RING)

- ① MANUALボタンを押して、手動にする。
押すたびに自動 / 手動が切り替わります。
- ② カメラコントロールリング(RING)を回して、手動でピントを合わせる。

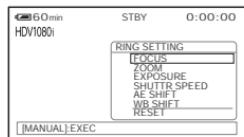
設定できる項目

下記から選択できます。

- [FOCUS] (37ページ)
- [ZOOM] (19ページ)
- [EXPOSURE] (35ページ)
- [SHUTTR SPEED] (36ページ)
- [AE SHIFT] (36ページ)
- [WB SHIFT] (37ページ)

メニュー項目を割り当てるには

- ① MANUALボタンを数秒間押し続ける。
[RING SETTING]画面が表示される。



- ② カメラコントロールリング(RING)を回して、割り当てる項目を選択。

- ③ MANUALボタンを押す。

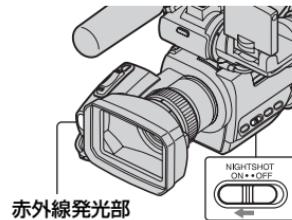
● ご注意

- いっても、設定内容を固定したあと、別の項目の 設定を行っても、先に行なった設定の内容はその まま保持されます。ただし、[AE SHIFT]を手動 設定したあとで[EXPOSURE]を設定した場合、[AE SHIFT]の効果は無効になります。
- 手順②で[RESET]を選択すると、手動設定し た項目が、すべてお買い上げ時の設定に戻ります。

◆ ちょっと一言

- [RING SETTING]で項目を割り当てるこ と で き ま す (39ページ)。

暗い場所で撮る(NightShot)



赤外線発光部

NIGHTSHOTスイッチを「ON」にする。
(と[NIGHTSHOT]が表示され る。)

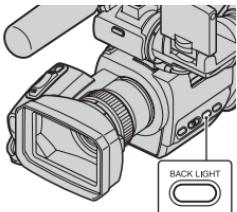
● ご注意

- NightShotとSuper NightShotは赤外線を利 用するため、赤外線発光部を指などで覆わない でください。
- ピントが合いにくいときは、手動でピントを合 わせてください ([FOCUS]、37ページ)。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。

💡 ちょっと一言

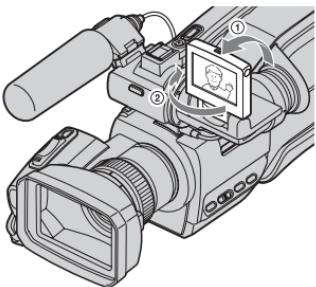
- さらに高感度で撮影するにはSuper NightShot(38ページ)、薄暗い場所でも明るくカラーで撮影するにはColor Slow Shutter(38ページ)が使えます。

逆光を補正する



BACK LIGHTボタンを押すと、図が表示されて補正される。解除するには、もう1度押す。

自分撮り(対面撮影)する



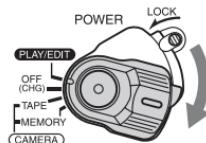
液晶画面を90°まで開いてから①、レンズ側に180°回す②。

💡 ちょっと一言

- 液晶画面には、左右反転で映りますが、実際に左右正しく録画されます。

見る

緑のボタンを押しながら、POWERスイッチを矢印の方向にずらして、「PLAY/EDIT」に合わせる。

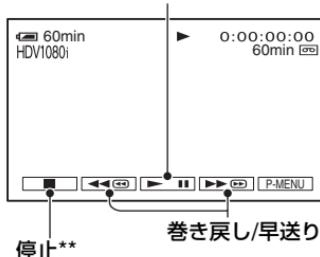


動画を見る



◀▶をタッチして見たい位置まで巻き戻し、▶⏸をタッチして再生する。

タッチするたびに、
再生/一時停止と切り替わる*



* 一時停止が3分以上続くと、自動的に停止します。

** テープ停止中で、画像が入っている“メモリースティック デュオ”が入っているときは、
[■] が [MEMORY] と表示されます。

音量を調節するには

[P-MENU]→[VOLUME]をタッチし、[−]/[+]をタッチして調節する(49ページ)。

✿ ちょっと一言

• [P-MENU]に[VOLUME]がないときは、[MENU]→[STANDARD SET]→[VOLUME]をタッチします。

動画を見ながら場面を探す

再生中に▶⏸/[◀▶]をタッチしたままにする(ピクチャーサーチ)。

早送り中に見るときは▶⏸を、巻き戻し中は[◀▶]をタッチしたままにする(高速アクセス)。

✿ ちょっと一言

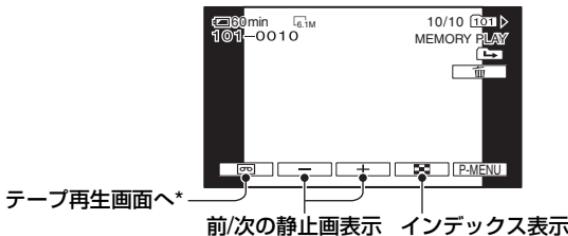
• テープは変速再生できます([VAR.SPD PB], 46ページ)。

静止画を見る



[MEMORY] をタッチする。

最後に撮影した画像が表示される。

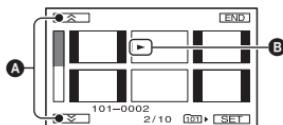


* テープ再生画面では [MEMORY] と表示されます。

“メモリースティック デュオ”的画像を一覧表示する(インデックス表示)

[■]をタッチする。いずれかの画像をタッチすると1枚表示になる。

撮る/見る



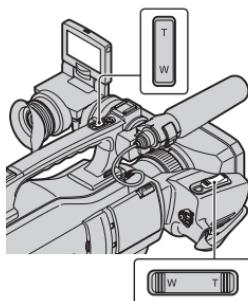
A 前の6枚/次の6枚

B 一覧表示前の画像

別フォルダの画像を見るとときは、[■] → [SET] → [PB FOLDER]をタッチし、[▲]/[▼]で選び [OK]をタッチする(42ページ)。

再生ズームする

画像を約1.1～5倍(静止画は約1.5～5倍)の範囲でズームできます。倍率はズームレバーで調節します。



- ① 拡大したい画像を表示する。
- ② T(望遠)で画像を拡大する。
- ③ 画面中央に表示したい部分をタッチする。
- ④ W(広角)/ T(望遠)で画像の大きさを調節する。

終了するには、[END] をタッチする。

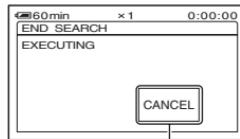
⌚ ご注意

- 再生ズーム中は、液晶画面の画像と本機から出力した画像がズームされます。i.LINK端子から出力される画像には影響ありません。

最後に録画した場面を頭出しする(エンドサーチ)

カセットをいったん取り出すと、エンドサーチは働きません。POWERスイッチを「TAPE」にして操作してください。

[⌚] → [→] をタッチする。



中止するには
ここをタッチする

最後に録画した場面の約5秒間が再生され、録画終了した場面でスタンバイになる。

⌚ ご注意

- テープの途中に無記録部分があると、正しく働かない場合があります。

⌚ ちょっと一言

- メニューからも[END SEARCH]できます。POWERスイッチの位置が「PLAY/EDIT」のときは、パーソナルメニュー(31ページ)にショートカットがあります。

テレビにつないで見る

テープを停止した場面を確認する(レックレビュー)

テープを停止させた場面を約2秒間再生し、確認できます。
POWERスイッチを「TAPE」にして操作してください(17ページ)。

⑧→⑨をタッチする。



停止した部分が約2秒間再生され、スタンバイに戻る。

テレビの種類や接続する端子によって接続方法や再生される画質が異なります。電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(10ページ)。

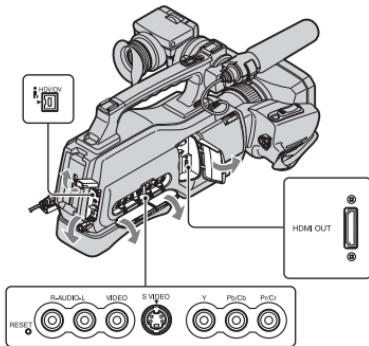
また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

⑥ ご注意

- 本機のメニュー設定は接続の前に行ってください。i.LINKケーブルにつないでから[VCR HDV/DV]や[i.LINK CONV]の設定を変えると、テレビが映像信号を正しく認識できないことがあります。
- DV規格で撮影した画像はどの接続でもSD(標準)画質で再生されます。
- x.v.Colorに対応したテレビで見るときは、あらかじめ[X.V.COLOR]を[ON]にして撮影してください(39ページ)。再生時にはテレビ側の設定が必要になる場合があります。

本機の端子について

端子カバーを矢印の方向に開けて接続してください。



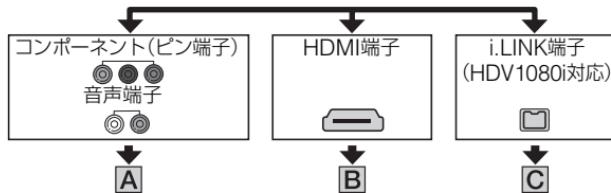
テレビにつないで見る(つづき)

ハイビジョンテレビとの接続方法



HD(ハイビジョン)画質

- HDV規格で撮影した映像はそのままHDV規格(HD画質)で再生
- DV規格で撮影した映像はそのままDV規格(SD画質)で再生



➡ : 信号の流れ、():参照ページ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

A



コンポーネントビデオケーブル(別売り)



コンポーネント映像入力
映像



STANDARD

SET

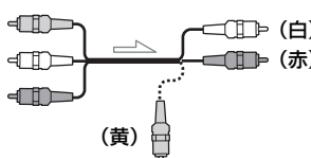
[VCR HDV/DV]

→[AUTO] (47)

[COMPONENT] →

[1080i/480i] (50)

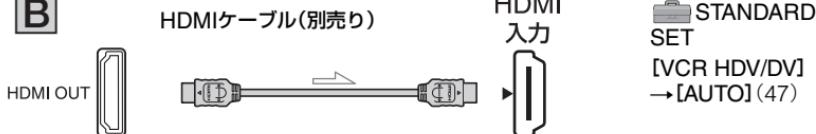
A/V接続ケーブル(付属)



音声

- コンポーネントケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。音声の出力にはA/V接続ケーブルも必要です。コンポーネント映像入力端子付近の音声端子(赤と白)につないでください。

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

B

HDMIケーブル(別売り)



STANDARD
SET
[VCR HDV/DV]
→ [AUTO] (47)

- HDMIケーブルはHDMIロゴ(表紙)がついているものをお使いください。
- 著作権保護のための信号が記録されているDV規格の映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。
- i.LINKでDV入力された画像(58ページ)を出力することはできません。
- 一部の機器では、映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。また、本機と接続機器の出力端子同士での接続はしないでください。故障の原因となります。

C

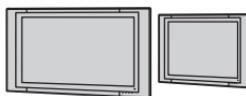
i.LINKケーブル(別売り)



STANDARD
SET
[VCR HDV/DV]
→ [AUTO] (47)
[DOWN
CONVERT] →
[i.LINK CONV] →
[OFF] (50)

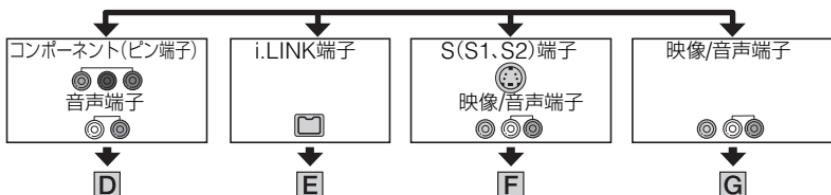
- テレビにはHDV1080i方式対応のi.LINK端子が必要です。詳しくはお使いのテレビの仕様をご確認ください。
- お使いのテレビがHDV1080i方式に対応していない場合は、別売りのコンポーネントビデオケーブルとA/V接続ケーブルで**A**の接続をしてください。
- テレビに本機を認識させるためにテレビ側の設定が必要です。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

ワイドテレビ/4:3テレビとの接続方法



SD(標準)画質

- HDV規格で撮影した映像をダウンコンバートして、DV規格(SD画質)で再生
- DV規格で撮影した映像はそのままDV規格(SD画質)で再生



テレビ(ワイド/4:3)に合わせて画像の比率を変えるには

ご覧になるテレビに合わせて[VIDEO OUT]を変更してください。

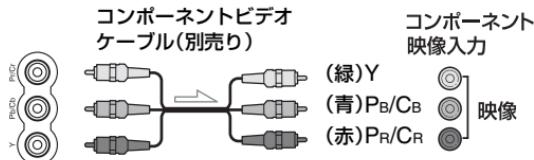
● ご注意

- DV規格で記録したテープをワイド信号非対応の4:3テレビで再生する場合は、撮影時に[WIDE SELECT]を[4:3]に設定してから撮影してください(48ページ)。

➡ : 信号の流れ、(): 参照ページ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

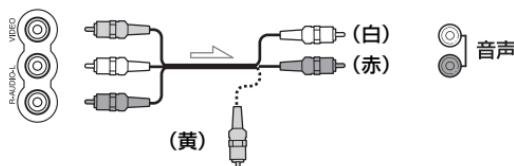
D



STANDARD SET

[VCR HDV/DV]
→ [AUTO] (47)
[COMPONENT]
→ [480i] (50)
[VIDEO OUT]
→ [SQUEEZE]/
[LETTER BOX]/
[EDGE CROP]
(50)

A/V接続ケーブル(付属)



- コンポーネントケーブルのみつないだ場合、音声は出力されません。音声の出力にはA/V接続ケーブルも必要です。コンポーネント映像入力端子付近の音声端子(赤と白)につないでください。

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------

E

i.LINKケーブル(別売り)



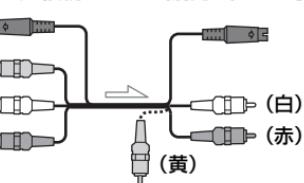
i.LINK

**STANDARD**

SET
[VCR HDV/DV]
→[AUTO] (47)
[DOWN
CONVERT]
→[i.LINK CONV]
→[ON:SQUEZE]/
[ON:CROP] (50)

- テレビに本機を認識させるためにテレビ側の設定が必要です。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

接続/設定

FS映像ケーブル付き
A/V接続ケーブル(別売り)

S(S1,S2)ビデオ



映像
音声

STANDARD

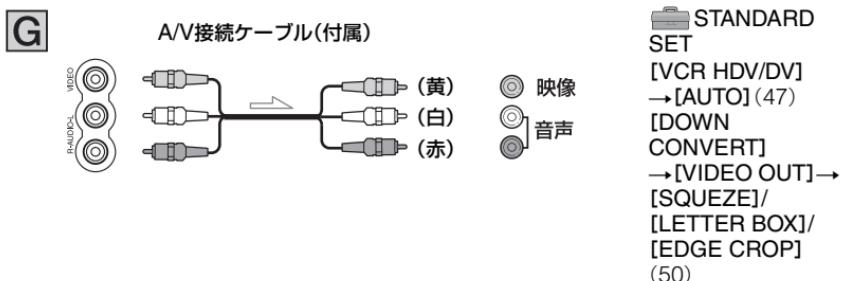
SET
[VCR HDV/DV]
→[AUTO] (47)
[DOWN
CONVERT]
→[VIDEO OUT]→
[SQUEZE]/
[LETTER BOX]/
[EDGE CROP]
(50)

- S(S1, S2)映像端子のみつないだ場合、音声は出力されません。音声を出力するにはS映像ケーブル付きのA/V接続ケーブルの白と赤のプラグも接続してください。
- A/V接続ケーブル(接続**G**)に比べ、画像をより忠実に再現できます。
- 本機はS1映像端子対応のため、つなぐ端子がSまたはS2映像端子のときは画像が正しく表示されない場合があります。その場合、テレビの設定を変更することで改善されることがあります。テレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

テレビにつないで見る(つづき)

→:信号の流れ、():参照ページ

接続方法	本機の端子	必要なケーブル	テレビの端子	必要なメニュー設定
------	-------	---------	--------	-----------



ビデオ経由でテレビにつなぐには

ビデオの入力端子によって55ページで接続方法を選ぶ。ビデオの外部入力端子につなぎ、ビデオに入力切り替えスイッチがある場合は「外部入力」(ビデオ1、ビデオ2など)に切り換える。

モノラルテレビ(音声端子がひとつ)のときは

A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)か赤いプラグ(右音声)のどちらかを音声入力へつなぐ。

☆ ちょっと一言

- HDMI (High Definition Multimedia Interface)とは、テレビ接続機器のデジタル映像/音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI端子とテレビを1本のケーブルで接続することで、高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。
 - i.LINK以外の端子から画像を出力するときに、複数のケーブルでテレビをつないでいるときは、HDMI端子→コンポーネントビデオ端子→S(S1, S2)映像端子→映像/音声端子の順で優先されます。
 - i.LINKについて詳しくは84ページをご覧ください。

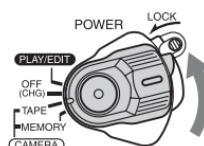
メニューの使いかた

1 緑のボタンを押しながら、POWERスイッチをずらして、使用するモードに合わせる。

TAPE: テープの設定

MEMORY: “メモリースティック デュオ”的設定

PLAY/EDIT: 見る/編集の設定



2 液晶画面をタッチして、項目を設定する。

灰色に表示されるメニューは、使用できません。

■ パーソナルメニューのショート

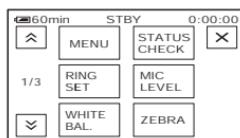
カットを使うときは

パーソナルメニューには、よく使うメニューへのショートカットが登録されています。

ちょっと一言

- ・パーソナルメニューはお好みの設定に変更できます(53ページ)。

① をタッチする。



② 希望の項目をタッチする。

画面がないときは、 / をタッチして表示させる。

③ 希望の設定にして、 をタッチする。

■ メニューを使うときは

パーソナルメニューに登録されていないメニュー項目も設定できます。

① → [MENU] の順にタッチする。
② 設定するメニューを選ぶ。

/ をタッチして選び、 をタッチして決定する。(手順③も同様の操作です。)

③ 設定する項目を選ぶ。

設定し終わったら、 → (閉じる)の順にタッチして、メニュー画面を消す。

設定を変更しないで戻るときは、 をタッチする。

メニュー一覧

ランプの点灯位置によって、使用可能(●)メニューが異なります。

TAPE | MEMORY | PLAY/EDIT

CAMERA SETメニュー(34ページ)

SCENE SELECT	●	●	—
SPOT METER	●	●	—
EXPOSURE	●	●	—
WHITE BAL.	●	●	—
SHARPNESS	●	●	—
SHUTTR SPEED	●	●	—
AUTOSLW SHTR	●	—	—
AE SHIFT	●	●	—
CAMERA COLOR	●	●	—
WB SHIFT	●	●	—
SPOT FOCUS	●	●	—
FOCUS	●	●	—
TELE MACRO	●	●	—
SUPER NS	●	—	—
NS LIGHT	●	●	—
COLOR SLOW S	●	●	—
ZEBRA	●	●	—
HISTOGRAM	●	●	—
SELF-TIMER	●	●	—
DIGITAL ZOOM	●	—	—
STEADYSHOT	●	●	—
CONV.LENS	●	●	—
RING SETTING	●	●	—
X.V.COLOR	●	—	—

MEMORY SETメニュー(40ページ)

STILL SET	—	●	●
ALL ERASE	—	—	●
FORMAT	—	●	●
FILE NO.	—	●	●
NEW FOLDER	—	●	●
REC FOLDER	—	●	●
PB FOLDER	—	—	●

PICT.APPLI.メニュー(43ページ)

FADER	●	—	—
INT.REC-STL	—	●	—
SLIDE SHOW	—	—	●
D.EFFECT	●	—	●
PICT.EFFECT	●	—	●
SMTH SLW REC	●	—	—

	TAPE	MEMORY	PLAY/EDIT
--	------	--------	-----------

PictBridge PRINT

—

●

USB SELECT

—

●

 EDIT/PLAYメニュー(46ページ) VAR.SPD PB

—

●

 REC CTRL

—

●

END SEARCH

●

●

 STANDARD SETメニュー(47ページ)

VCR HDV/DV

—

●

REC FORMAT

●

—

DV SET DV

●

●

VOLUME

●

●

MIC LEVEL

●

—

AU.LVL DISP

●

—

LCD/VF SET

●

●

COMPONENT

●

●

DOWN CONVERT

●

●

STATUS CHECK

●

—

GUIDEFRAME

●

—

COLOR BAR

●

—

DATA CODE

—

●

 REMAINING

●

●

REC LAMP

●

—

BEEP

●

●

DISP OUTPUT

●

●

MENU ROTATE

●

●

CALIBRATION

—

●

QUICK REC HDV1080i

●

—

 TIME/LANGU.メニュー(53ページ)

CLOCK SET

●

●

WORLD TIME

●

●

LANGUAGE

●

●

CAMERA SET

メニュー

撮影状況に合わせるための設定

▶は、お買い上げ時の設定。

()内の表示が画面に出ます。

操作方法は31ページをご覧ください。

SCENE SELECT

場面に合わせて、効果的な画像で撮影できます。

▶ AUTO

[SCENE SELECT] を使わずに、自動的に効果的な画像になる。

TWILIGHT*(☽)

暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影できる。



CANDLE(蠟)

キャンドルライトの雰囲気を損なわずに撮影できる。



SUNRSE SUNSET*(☀)

日の出や夕焼けなどを雰囲気たっぷりに表現する。



FIREWORKS*(烟花爆)

打ち上げ花火をきれいに撮影する。



LANDSCAPE*(▲)

遠景まではっきり撮影できる。ガラスや金網越しに撮るときも、向こうの被写体にピントが合うようになる。



PORTRAIT(人物)

背景をぼかして、前にいる人物や花などをソフトに引き立てる。



SPOTLIGHT**(◎)

スポットライトを浴びている人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぐ。



BEACH**(🏖)

照り返しの強い砂浜で、人物が陰にならなくなる。



SNOW**(❄)

ゲレンデなどの白い風景で、画面が暗く映るのを防ぎ、明るくする。



* 遠景のみにピントが合うように設定されます。

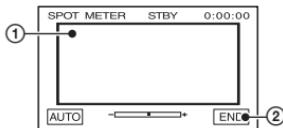
** 近くのものにピントが合わないように設定されます。

⚠ ご注意

- [SCENE SELECT] を設定すると、[SHUTTER SPEED]、[WHITE BAL.] の設定は解除されます。

SPOT METER (フレキシブルスポット測光)

被写体が最適な明るさで映るように画面全体の明るさを調節し、固定できます。舞台上の人物の撮影など、被写体と背景のコントラストが強いときに使います。



- ① 画面枠内の明るさを調節したいポイントをタッチする。
→ が表示される。
- ② [END]をタッチする。

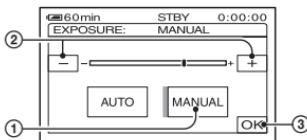
自動調節に戻すには、[AUTO]→[END]をタッチする。

ご注意

- フレキシブルスポット測光中は、[EXPOSURE]は自動的に[MANUAL]になります。

EXPOSURE

画像の明るさを手動で固定できます。背景に比べて被写体が明るすぎたり暗すぎるときなどに調節します。



- ① [MANUAL]をタッチする。
→ が表示される。
- ② [−]/[+]で明るさを調節する。
- ③ [OK]をタッチする。

自動調節に戻すには、[AUTO]→[OK]をタッチする。

ちょっと一言

- カメラコントロールリング(RING)で、手動で設定を調節することもできます(20ページ)。

WHITE BAL.(ホワイトバランス)

撮影する場面に合わせて色合いを調節できます。

AUTO

自動調節されます。

OUTDOOR(☀)

次の撮影環境に合った色合いになる。

- 屋外
- 夜景やネオン、花火など
- 日の出、日没など
- 昼光色蛍光灯の下

INDOOR(❖)

次の撮影環境に合った色合いになる。

- 屋内
- パーティー会場やスタジオなど照明条件が変化する場所
- スタジオなどのビデオライトの下、ナトリウムランプや電球色蛍光灯の下

ONE PUSH(◀▶)

光源に合わせてホワイトバランスを固定する。

- ① [ONE PUSH]をタッチする。
- ② 被写体を照らす照明条件と同じところに白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。
- ③ [◀▶]をタッチする。
→ が速い点滅に変わり、ホワイトバランスが調節される。終わると点灯に変わる。

ご注意

- 白色や昼白色の蛍光灯下では、[AUTO]に設定するか[ONE PUSH]の手順で色合いを調節してください。
- [ONE PUSH]で設定するとき、→ の速い点滅中は、白いものを映し続けてください。

CAMERA SETメニュー(つづき)

- の遅い点滅は、[ONE PUSH]で設定できなかった場合を表します。
- [ONE PUSH]で設定するとき、[OK]をタッチ後も■が点滅するときは、[AUTO]にしてください。
- [WHITE BAL.]を設定すると[SCENE SELECT]が[AUTO]になります。

◆ ちょっと一言

- [AUTO]でバッテリーを交換したときや、屋内 外を移動したときは、白っぽい被写体に向けて [AUTO]で約10秒間撮影すると、より良い色 合いになります。
- [ONE PUSH]設定中に、[SCENE SELECT] の効果を変えたり、屋外と屋内を行き来したり したときは、再び[ONE PUSH]の手順を行っ てください。

SHARPNESS

[-]/[+]で画像輪郭をやわらかくする か、くっきりさせるかを調節して撮影でき ます。お買い上げ時の設定以外にすると、 **□** が表示されます。



やわらかな画像に くっきりした画像に

SHUTTR SPEED

シャッタースピードを自由に調節し、固定 することができます。被写体の動きを止め たり、逆に流動感を強調して撮影するとき に便利です。

▶ AUTO

自動で調節するときに選ぶ。

MANUAL(S)

[-]/[+]でシャッタースピードを調 節する。
POWERスイッチが「TAPE」のときは1/4 秒から1/10000秒、POWERスイッチが 「MEMORY」のときは1/4秒から1/500秒 の範囲で設定できます。



遅い

速い

◆ ご注意

- POWERスイッチが「TAPE」のときに1/725秒 以上に設定すると、静止画を撮影できま せん。 **⌚** が表示されます。
- シャッタースピードを1/100秒に設定する と、画面には[100]と表示されます。
- シャッタースピードが遅いと、自動でピントが 合いにくくなります。三脚などに固定して、手 動でピントを合わせることをおすすめしま す。
- 蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯などの放電管に よる照明下で撮影すると、画面に横筋が見えたり、画面が明滅したり、色が変化したりす ることがあります。このようなときは、シャッタース ピードを関東地方など50Hzの地域では 1/100、関西地域など60Hzの地域では1/60に 設定することをおすすめします。

◆ ちょっと一言

- カメラコントロールリング(RING)で、手動で 設定を調節することもできます(20ページ)。

AUTOSLW SHTR (オートストローシャッター)

[ON]に設定すると、暗い場所で撮影する ときに自動的に1/30秒までシャッタース ピードが遅くなります。

AE SHIFT

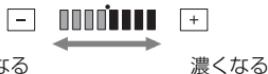
[-] (暗く)/[+] (明るく)で露出をお好 みに合わせて調節できます。お買い上げの 設定以外にすると、**AS** と設定した数値が 表示されます。

◆ ちょっと一言

- 白い被写体や逆光のときは[+], 黒い被写体 や暗い場所のときは[-]をタッチすることを おすすめします。
- [EXPOSURE]が[AUTO]のときに使うと、明 るさを明るめ/暗めに設定できます。
- カメラコントロールリング(RING)で、手動で 設定を調節することもできます(20ページ)。

CAMERA COLOR

[-]/[+] で画像の色の濃淡をお好みに合わせて調節できます。お買い上げの設定以外にすると、④が表示されます。



WB SHIFT (ホワイトバランスシフト)

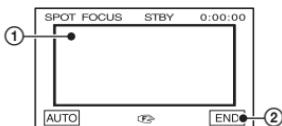
[-]/[+] でホワイトバランスをお好みに合わせて調節できます。お買い上げの設定以外にすると、WS と設定した数値が表示されます。

✿ ちょっと一言

- ・ 数値を下げるとき画像が青味がかり、数値を上げると赤味がかります。
- ・ カメラコントロールリング(RING)で、手動で設定を調節することもできます(20ページ)。

SPOT FOCUS

画面中央からはずれた被写体を基準にして、ピントを合わせられます。



- ① 画面枠内の被写体にタッチする。

④ が表示される。

- ② [END] をタッチする。

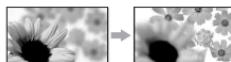
自動ピント合わせに戻すには、手順①で [AUTO] → [END] をタッチする。

✿ ご注意

- ・ スポットフォーカス中は、[FOCUS] が自動的に [MANUAL] になります。

FOCUS

手動でピントを合わせられます。ピントを合わせる被写体を意図的に変えるときにも使えます。



- ① [MANUAL] をタッチする。

④ が表示される。

- ② [■←] (近くにピント合わせ)/[■▲] (遠くにピント合わせ) をタッチしてピントを調整する。それ以上近くにピントを合わせられないときは ■ が、それ以上遠くにピントを合わせられないときは ▲ が表示される。

- ③ [OK] をタッチする。

自動ピント合わせに戻すには、手順①で [AUTO] → [OK] をタッチする。

✿ ご注意

- ・ ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約80cm以上です。

✿ ちょっと一言

- ・ ピントは、始めにズームを T 側(望遠)でピントを合わせてから、W 側(広角)に戻してゆくと合わせやすくなります。接写時は、逆にズームを W 側(広角)いっぱいにしてピントを合わせます。
- ・ カメラコントロールリング(RING)でも手動でピントを合わせることができます(20ページ)。

TELE MACRO

背景をぼかして、被写体をより際立たせることができます。花や昆虫など小さいものを撮るときに便利です。

[ON] (TV) にするとズーム(19ページ)が自動で望遠(T側)になり、約45cmまでの近接撮影ができます。



CAMERA SETメニュー(つづき)

解除するには、[OFF]をタッチする。またはズームを広角(W側)にする。

④ ご注意

- ・被写体が遠いときはピントが合いにくく、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
- ・ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください([FOCUS]、37ページ)。

SUPER NS(Super NightShot)

あらかじめ、NIGHTSHOTスイッチ(20ページ)を「ON」にした状態で、[ON]に設定すると、暗い場所でNightshotの最大16倍の感度で撮影できます。

S[■]と「SUPER NIGHTSHOT」が表示されます。

解除するには、[OFF]をタッチする。またはNIGHTSHOTスイッチを「OFF」にする。

④ ご注意

- ・明るい場所で使うと、故障の原因になります。
- ・赤外線発光部を指などで覆わないでください(94ページ)。
- ・コンバージョンレンズ(別売り)ははずしてください。
- ・ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください([FOCUS]、37ページ)。
- ・シャッタースピードが明るさによって変わり、画像の動きが遅くなることがあります。

NS LIGHT(NightShot ライト)

[ON](お買い上げ時の設定)のときは、NightShot(20ページ)と[SUPER NS](38ページ)撮影時に、赤外線(不可視)を発光する[NS LIGHT]で、よりはっきりした画像を撮影できます。

④ ご注意

- ・赤外線発光部を指などで覆わないでください(94ページ)。
- ・コンバージョンレンズ(別売り)ははずしてください。
- ・ライトが届く範囲は約3メートルです。

COLOR SLOW S (Color Slow Shutter)

[ON]に設定すると、薄暗い場所でも明るくカラーで撮影できます。

S[■]と[COLOR SLOW SHUTTER]が表示されます。

解除するには、[OFF]をタッチする。

④ ご注意

- ・ピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください([FOCUS]、37ページ)。
- ・シャッタースピードが明るさによって変わり、画像の動きが遅くなることがあります。

ZEBRA

画面に映る画像の中で、設定した輝度レベル部分にしま模様が表示されます。明るさを調節するときの目安にすると便利です。お買い上げ時の設定以外にすると、S[■]が表示されます。ゼブラは記録されません。

▶ OFF

表示しない。

70

輝度レベルが約70IREの部分に表示する。

100

輝度レベルが約100IRE以上の部分に表示する。

④ ご注意

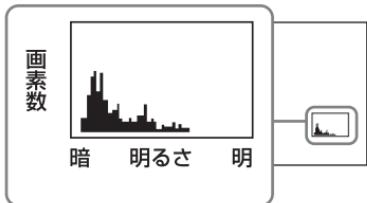
- ・100IRE以上の部分は白とびすることがあります。

♪ ちょっと一言

- ・IREとは輝度レベルの単位です。

HISTOGRAM

[ON]に設定すると、ヒストグラム(画像の明るさの分布を表した図(グラフ))が表示されます。明るさを調節するときの目安にすると便利です。ヒストグラムを見ながら、[EXPOSURE]や[AE SHIFT]を調節することができます。テープや“メモリースティック デュオ”にヒストグラムは記録されません。



⌚ ご注意

- デジタルズーム使用時は⌚が表示され、ヒストグラムは表示されません。

💡 ちょっと一言

- グラフの左側は画面の暗い部分、右側は明るい部分を示します。

SELF-TIMER

約10秒後に静止画を撮影します。

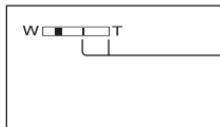
[ON]で⌚が表示されている状態でPHOTOボタンを押す。

秒読みを停止するには[RESET]をタッチする。

解除するには、[OFF]をタッチする。

DIGITAL ZOOM

テープ撮影時に、10倍光学ズーム(お買い上げ時の設定)を超えてデジタルズームになったときの最大倍率を設定します。デジタル処理のため画質は劣化します。



ラインよりT側がデジタルズームになります。倍率を選ぶと表示されます。

▶ OFF

10倍光学ズームのみ

20×

10倍光学ズーム～最大20倍までのデジタルズーム

STEADYSHOT

お買い上げ時の設定は[ON]のため、手ブレ補正を使って撮影できます。三脚(別売り)を利用するときは、[OFF](⌚)にすると自然な画像になります。

CONV.LENS

コンバージョンレンズ(別売り)を使用するときに設定すると、それぞれのレンズに最適な手ブレ補正を使って撮影できます。

▶ OFF

コンバージョンレンズ(別売り)を使用しない。

WIDE CONV.(⌚)

ワイドコンバージョンレンズ(別売り)を使用する。

TELE CONV.(⌚)

テレコンバージョンレンズ(別売り)を使用する。

RING SETTING

カメラコントロールリング(RING)に割り当てる項目を選択できます。詳しくは20ページをご覧ください。

X.V.COLOR HDV1080i

[ON]にして撮影すると、より広い色域で記録できます。今まででは表現できなかった鮮やかな花の色や、南国の海の美しい青緑色などを、より忠実に再現することが可能になります。

CAMERA SETメニュー(つづき)

⌚ ご注意

- x.v.Colorに対応したテレビで再生するときのみ、あらかじめ[ON]にして撮影してください。それ以外のときは[OFF](お買い上げ時の設定)にしてください。
- [ON]にして撮影した画像をx.v.Colorに非対応のテレビで再生すると、色が正しく再現されない場合があります。
- 次のとき[X.V.COLOR]は設定できません。
 - DV規格で記録するとき
 - 動画を撮影中

MEMORY SET

メニュー

“メモリースティック デュオ”に関する設定

▶は、お買い上げ時の設定。

()内の表示が画面に出ます。

操作方法は31ページをご覧ください。

STILL SET

■ QUALITY

▶ FINE(FINE)

高画質で記録する。

STANDARD(STD)

標準の画質で記録する。

■ IMAGE SIZE

▶ 6.1M()

鮮明な画像を撮影する。

4.6M()

鮮明な画像をワイド(16:9)で撮影する。

3.1M()

比較的きれいな画像をたくさん撮影する。

VGA(0.3M)()

たくさんの枚数を撮影する。

⌚ ご注意

- POWERスイッチが「MEMORY」のときのみ設定できます。

“メモリースティック デュオ”的容量(MB)と撮影可能枚数(枚)

POWERスイッチが「MEMORY」のとき

	6.1M 2848× 2136	4.6M 2848× 1602	3.1M 2048× 1536	VGA 640× 480
	[6.1M]	[4.6M]	[3.1M]	[VGA]
128MB	41	55	80	780
	98	130	185	1970
256MB	75	95	140	1400
	175	235	335	3550
512MB	150	200	295	2850
	360	480	690	7200
1GB	310	415	600	5900
	730	980	1400	14500
2GB	630	850	1200	12000
	1500	2000	2850	30000
4GB	1250	1650	2400	23500
	2950	3950	5700	59000
8GB	2500	3350	4900	48000
	6000	8000	11000	115000

POWERスイッチが「TAPE」のとき

	4.6M 2848×1602	3.4M 2136×1602
	[4.6M]	[3.4M]
128MB	55	74
	130	170
256MB	95	130
	235	305
512MB	200	270
	480	630
1GB	415	550
	980	1250
2GB	850	1100
	2000	2600
4GB	1650	2250
	3950	5200
8GB	3350	4500
	8000	10000

POWERスイッチが「PLAY/EDIT」のとき*

	1.2M 1440×810	VGA 640×480	0.2M 640×360
	[1.2M]	[VGA]	[0.2M]
128MB	205	780	980
	490	1970	1970
256MB	370	1400	1750
	890	3550	3550
512MB	760	2850	3600
	1800	7200	7200
1GB	1550	5900	7300
	3650	14500	14500
2GB	3150	12000	15000
	7500	30000	30000
4GB	6300	23500	29500
	14500	59000	59000
8GB	12500	48000	60000
	30000	115000	115000

* 画像サイズは再生画像が HDV 規格のときは 1.2M, DV 規格(16:9)のときは 0.2M, DV 規格(4:3)のときは VGA(0.3M)に固定されます。

☞ ご注意

- それぞれの数値は次の設定によるものです。
上段は画質が[FINE]のとき
下段は画質が[STANDARD]のとき
- ソニー製“メモリースティック デュオ”使用時。枚数は、撮影環境および記録メディアによって異なる場合があります。
- ソニー独自のクリアビットCMOSセンサーの画素配列と画像処理システムエンハンスドダイメージングプロセッサーにより、静止画は表記の記載サイズを実現しています。

MEMORY SETメニュー(つづき)

ALL ERASE

プロテクトのかかっていない“メモリースティック デュオ”内または選択フォルダ内の全画像を消します。

- ① [ALL FILES]か[CURRNT FOLDER]を選ぶ。

[ALL FILES]: “メモリースティック デュオ”内のすべての画像を消去。
[CURRNT FOLDER]: 選択しているフォルダ内のすべての画像を消去。

- ② [YES]を2回→[X]をタッチする。

ご注意

- ・全消去しても、フォルダは消去されません。
- ・[Erasing all data...]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
 - POWERスイッチ/ボタン操作
 - “メモリースティック デュオ”的取り出し

FORMAT

“メモリースティック デュオ”はお買い上げ時にフォーマット済みのため、フォーマットする必要はありません。

フォーマットを実行するには、[YES]を2回→[X]をタッチする。

フォーマットされて、すべての画像が消去されます。

ご注意

- ・[Formatting...]が表示されているとき、次の操作はしないでください。
 - POWERスイッチ/ボタン操作
 - “メモリースティック デュオ”的取り出し
- ・新しく作成したフォルダやプロテクトのかかっている画像もすべて消去されます。

FILE NO.

SERIES

“メモリースティック デュオ”を取り換えて、ファイル番号を連続して付ける。フォルダを新しく作成、または記録先フォルダを変更した場合はリセットされる。

RESET

“メモリースティック デュオ”ごとに、ファイル番号を0001から付ける。

NEW FOLDER

“メモリースティック デュオ”内に、新フォルダ(101MSDCF～999MSDCFまで)を作成できます。1つのフォルダが9,999枚になると、自動的に新フォルダを作成します。

[YES]→[X]をタッチする。

ご注意

- ・1度作成した新フォルダは、本機で削除できません。“メモリースティック デュオ”をフォーマットするか(42ページ)、パソコンなどで削除してください。
- ・フォルダが増えると、“メモリースティック デュオ”的残量が減ることもあります。

REC FOLDER (記録フォルダ選択)

[]/[]で記録するフォルダを選んで[OK]をタッチする。

ご注意

- ・お買い上げ時の設定では、ファイルは「101MSDCF」に記録されます。
- ・いったん画像を記録すると、そのとき選ばれてる記録先フォルダが、再生フォルダに設定されます。

PB FOLDER(再生フォルダ選択)

[]/[]で再生するフォルダを選んで[OK]をタッチする。

メニュー

画像への特殊効果追加や、応用的な撮影/
再生機能

▶は、お買い上げ時の設定。

()内の表示が画面に出ます。

操作方法は31ページをご覧ください。

FADER

場面間に、効果を入れながら、つなぎ撮り
できます。

- ① スタնバイ中(フェードインのとき)または録画中(フェードアウトのとき)に使いたい効果を選んで、[OK]をタッチする。
- ② START/STOPボタンを押す。
フェーダー表示が点灯に変わり、終了後消える。

操作開始前に解除するには①で[OFF]をタッチする。

1度START/STOPボタンを押すと、設定は解除されます。



WHITE FADER



BLACK FADER



MOSAIC FADER



MONOTONE

フェードイン時は白黒→カラーに、フェードアウト時はカラー→白黒になる。

INT.REC-STL (インターバル静止画記録)

一定時間ごとに“メモリースティックデュオ”へ静止画を記録します。雲の動きや日照変化などを定点観測撮影時に便利です。



- ① [SET] → 希望のウェイトタイム(1分、5分、10分) → [OK] → [ON] → [OK] → [X] をタッチする。
- ② PHOTOボタンを深く押す。
[REC]が点滅から点灯に変わり、インターバル静止画記録が始まる。
- 解除するには①で[OFF]にする。

SLIDE SHOW

“メモリースティック デュオ”内の全画像、またはフォルダ内の全画像を自動再生(スライドショー)できます。

- ① [SET] → [PB FOLDER]をタッチする。
 - ② [ALL FILES(全)]か[CURRNT FOLDER([)])]を選び、[OK]をタッチする。
[CURRNT FOLDER([)])]を選ぶと、[PB FOLDER](42ページ)で選んだフォルダ内の画像を自動再生する。
 - ③ [REPEAT]をタッチする。
 - ④ [ON]または[OFF]を選び、[OK]をタッチする。
[ON]([C])に設定すると、スライドショーを繰り返し、[OFF]に設定すると、スライドショーを1度だけで終了する。
 - ⑤ [END] → [START]をタッチする。
- 中止するには[END]を、一時停止するには[PAUSE]をタッチする。

⌚ ちょっと一言

- [START]をタッチする前に、[−]/[+]でスライドショーを始める画像を選べます。

D.EFFECT (デジタルエフェクト)

演出を加えて画像を撮影したり、見たりできます。

① 設定する効果を選ぶ。

② [−]/[+]で効果を調節して[OK]をタッチする。

効果	調節内容
CINEMA EFEKT*	調整不要
STILL	背景の静止画の写り具合
FLASH	フラッシュの間隔
TRAIL	残像時間
OLD MOVIE*	調整不要

* テープ撮影時のみ使えます。

③ [OK]をタッチする。

[REC]が表示される。

解除するには手順①で[OFF]をタッチする。

► OFF

デジタルエフェクトを使わない。

CINEMA EFEKT

画質を調整し、映画のように撮影する。

STILL

[STILL]をタッチしたときに記憶される静止画に、動画を重ねて撮影/再生する。



FLASH(フラッシュモーション)

コマ送り撮影/再生をする。

TRAIL

残像が尾を引くように撮影/再生する。

OLD MOVIE

昔の映画のようなセピア色の画像にする。

⌚ ご注意

- [CINEMA EFEKT]を設定してテープ記録している間は、他のデジタルエフェクトに切り換えられません。
- [HDV/DV端子(i.LINK)]で本機と他の機器を接続した場合、再生画像に加えた効果は出力されません。
- [D.EFFECT]中は“メモリースティックデュオ”静止画レビューボタン[REC]は使えません。
- [CINEMA EFEKT]を設定すると、[SPOT METER]と[EXPOSURE]は[AUTO]に戻ります。

⌚ ちょっと一言

- 効果を加えた画像を、“メモリースティックデュオ”に取り込んだり(60ページ)、ビデオ、DVD/HDDレコーダーへダビングしたり(55ページ)できます。

PICT.EFFECT (ピクチャーエフェクト)

特殊効果を加えて撮影したり、見たりできます。[REC]が表示されます。

► OFF

ピクチャーエフェクトを使わない。

SKINTONE*

肌をなめらかに美しく見せます。

NEG.ART

ネガフィルムのような画像。



SEPIA

古い写真のような画像。

B&W

白黒の画像。

SOLARIZE

明暗がはっきりして、イラストのような画像。



PASTEL*

淡い色の画像。



MOSAIC*

タイルを組み合わせたような画像。



* テープ撮影時のみ設定できます。

④ ご注意

- i HDV/DV端子(i.LINK)で本機と他の機器を接続した場合、再生画像に加えた効果は出力されません。

⑤ ちょっと一言

- 効果を加えた画像を、“メモリースティック デュオ”に取り込んだり(60ページ)、ビデオ、DVD/HDDレコーダーへダビングしたり(55ページ)できます。

SMTH SLW REC (なめらかスロー録画)

通常撮影では見ることができない高速な動作、現象を、なめらかなスローモーション映像として撮影できます。ゴルフ、テニスなどの速い動きの撮影時に便利です。

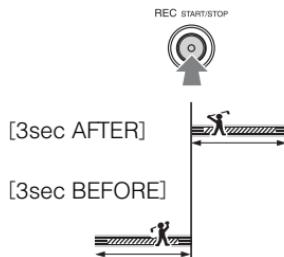
[SMTH SLW REC]画面で、START/STOPボタンを押す。

約3秒間の録画が、約12秒間のスローモーション映像として記録されます。記録が完了すると、[Recording…]が消えます。

[SET]をタッチして以下を設定することができます。

- [TIMING]

START/STOPボタンを押してから記録を開始するタイミングを選択する(お買い上げ時の設定は[3sec AFTER])。



- [RECORD SOUND]

[ON] (♪)になると、スローモーション映像に会話などを追加記録できる(お買い上げ時の設定は[OFF])。

[Recording…]が表示されている約12秒間に録音する。

④ ご注意

- 撮影中の約3秒間には音声を記録できません。
- [SMTH SLW REC]の画像は、通常撮影時よりも劣化します。

解除するには [END] をタッチする。

PictBridge PRINT

62ページをご覧ください。

USB SELECT

USBケーブルで本機とパソコンをつないでパソコンに静止画を取り込んだり、PictBridge対応のプリンターと接続する(62ページ)ときに使います。

► Memory Stick

“メモリースティック デュオ”に記録した画像をパソコンで見たり、パソコンに取り込むときに選択します。

PICT.APPLI.メニュー(つづき)

PictBridge PRINT

本機とPictBridge対応のプリンターを直接つないで、プリントするときに選択します(62ページ)。

EDIT/PLAY

メニュー

編集/变速再生の設定

操作方法は31ページをご覧ください。

VAR.SPD PB(变速再生)

テープの動画再生時に变速再生できます。

① 再生中に、下記のボタンをタッチする。

再生方法	タッチするボタン
逆方向に再生*	  (コマ送り)
スロー再生**	 
	逆方向には:  (コマ送り)→ 
コマ送り	一時停止中に  (コマ送り) 逆方向へはコマ送り 中に:  (コマ送り)

* 画面上下や中央に横じまが入ることがあります。が、故障ではありません。

**  HDV/DV端子(i.LINK)から出力される画像は、なめらかにスロー再生されません。

②  →  をタッチする。

通常再生に戻すには、 (再生/一時停止)を2回タッチ(「コマ送り」は1回)する。

ご注意

- 音声は出ません。また、映像がモザイク状に残ることがあります。
- HDV規格の場合、一時停止や变速再生している映像を HDV/DV端子(i.LINK)から出力することはできません。
- HDV規格で撮影したテープでは、次のとき画面が乱れます。
 - ピクチャーサーチ中
 - 逆方向再生中
- HDV規格では、逆方向へのスロー再生、逆方向へのコマ送りはできません。

REC CTRL

58ページをご覧ください。



STANDARD SETメニュー

END SEARCH

EXEC

最後に撮影した場面の約5秒間が再生され、自動的に止まる。

CANCEL

エンドサーチを中止する。

⌚ ご注意

- 撮影後にカセットを取り出すと、[END SEARCH]はできなくなります。

VCR HDV/DV

再生するときの信号を選びます。通常は[AUTO]に設定してください。

i.LINKケーブル接続時はHDV/DV端子(i.LINK)から入力/出力する信号を選びます。ここで選択した信号をテープに記録/再生します。

► AUTO

テープ再生時、自動でHDV/DV規格の信号を切り換えて、再生する。

i.LINK接続時は、自動でHDV/DV規格の信号に切り換えて、HDV/DV端子(i.LINK)から入出力して、記録/再生する。

HDV

テープ再生時、HDV規格で記録された部分のみ再生する。

i.LINK接続時はHDV規格の信号のみをHDV/DV端子(i.LINK)から入出力して、記録/再生する。また、パソコンなどと接続するときに選ぶ。

DV

テープ再生時、DV規格で記録された部分のみ再生する。

i.LINK接続時はDV規格の信号のみをHDV/DV端子(i.LINK)から入出力して、記録/再生する。また、パソコンなどと接続するときに選ぶ。

⌚ ご注意

- 設定を変える前に、必ずi.LINKケーブルを抜いてください。つないだまま設定を変えると、ビデオ機器が映像信号を正しく認識できないことがあります。
- [AUTO]を選ぶと、HDVとDVの信号が切り替わるときに一時画面が消えて、画像と音声が途切れます。

- [i.LINK CONV]が[ON:SQUEZE]または[ON:CROP]に設定されているときは、次の信号が出力されます。
 - [AUTO]のときは、HDV信号はDVに変換され、DV信号はそのまま出力されます。
 - [HDV]のときは、HDV信号はDVに変換され、DV信号の部分は出力されません。
 - [DV]のときは、DV信号はそのまま出力され、HDV信号の部分は出力されません。

REC FORMAT

撮影する録画規格を選択できます。

▶ HDV1080i(HDV1080i)

HDV規格の1080i方式で撮影する。

DV(DV)

DV規格で撮影する。

⌚ ご注意

- 撮影中の画像をi.LINK出力するときは、[i.LINK CONV]もあわせて設定してください。

DV SET DV

DV規格で撮影するときに選ぶことができます。

■ REC MODE

▶ SP(SP)

テープへSP(標準)モードで録画する。

LP(LP)

テープへSPモードの1.5倍の録画時間で長時間録画する。

⌚ ご注意

- LPモードで録画したテープを他機で再生すると、モザイク状のノイズが現れたり、音声が途切れたりすることがあります。
- テープの途中でSP/LPモードを切り換えると、画像が乱れたり、タイムコードが正しくつながらないことがあります。

■ WIDE SELECT

つなぐテレビの画像の比率に合った画像サイズで撮影できます。テレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

▶ 16:9 WIDE

ワイド(16:9)テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

4:3(4:3)

4:3テレビ画面いっぱいに映るように撮影する。

⌚ ご注意

- 再生時に接続するテレビに合わせて[VIDEO OUT]を正しく設定してください(50ページ)。

■ AUDIO MODE

▶ 12BIT

テープへ12ビット(2つのステレオ音声)で記録する。

16BIT(♪16b)

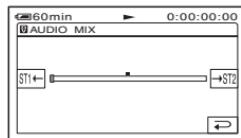
テープへ16ビット(高音質で1つのステレオ音声)で記録する。

⌚ ご注意

- HDV規格のときは、自動的に[16BIT]で記録されます。

■ AUDIO MIX

他機でアフレコや4CHマイク記録したテープの音声を再生時に確認できます。



[ST1]/[ST2]で撮影時の音声(ST1:ステレオ1)とアフレコした音声(ST2:ステレオ2)の音声バランスを調整し、[OK]をタッチする。

⌚ ご注意

- お買い上げ時は、ステレオ1の音のみが出る設定になっています。

VOLUME

[-]/[+]をタッチして調節します(22ページ)。

MIC LEVEL

記録するときの音量を調節できます。

▶ AUTO

自動で調節するときに選ぶ。

MANUAL(♪M)

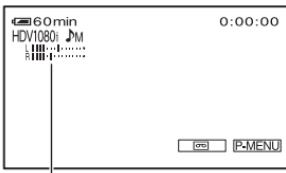
撮影または撮影スタンバイ中に、[-]/[+]をタッチして音量を調節する。マイク音レベルを表したバーが表示されます。右にいくほどマイク音レベルが上がります。お買い上げ時以外の設定にすると、入力レベルメーターが表示されます。

⌚ ご注意

- ・ヘッドホンをつけて、レベルを確認しながら操作することをおすすめします。

AU. LVL DISP (オーディオレベル表示)

お買い上げ時は[ON]のため、画面にオーディオレベルメーターが表示されます。



LCD/VF SET

設定を変更しても録画される画像に影響ありません。

■ LCD BRIGHT

液晶画面の明るさを調節できます。

- ① [-]/[+]で調節する。
- ② [OK]をタッチする。

■ LCD BL LEVEL

液晶画面パックライトの明るさを調節できます。

▶ NORMAL

通常の設定(標準の明るさ)。

BRIGHT

画面が暗いと感じたときに選ぶ。

⌚ ご注意

- ・コンセントにつないで使うと、設定は自動的に[BRIGHT]になります。
- ・[BRIGHT]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

■ LCD COLOR

[-]/[+]で液晶画面の濃さを調節できます。



■ VF B.LIGHT

ファインダーの明るさを調節できます。

▶ NORMAL

通常の設定(標準の明るさ)。

BRIGHT

ファインダーが暗いと感じたときに選ぶ。

⌚ ご注意

- ・コンセントにつないで使うと、設定は自動的に[BRIGHT]になります。
- ・[BRIGHT]を選ぶと、バッテリー撮影可能時間が若干短くなります。

■ VF COLOR

▶ ON

ファインダーをカラーで表示させる。

OFF

ビューファインダーを白黒で表示させる。

COMPONENT

コンポーネント端子のあるテレビとつなぐときに選びます。

480i

480iに対応したテレビとつなぐときに選ぶ。

► 1080i/480i

1080iに対応したテレビとつなぐときに選ぶ。

DOWN CONVERT

HDV規格の映像信号出力形式を設定します。

■ i.LINK CONV

[ON]に設定すると、HDV規格の信号をDV規格に変換してHDV/DV端子(i.LINK)から出力します。DV規格の信号は、そのままDV規格で出力されます。

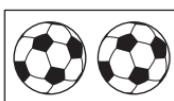
► OFF

ON:SQUEZE

ワイド(16:9)テレビやワイド(16:9)モード対応のテレビに出力する。

ワイド(16:9)
テレビ

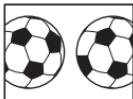
ワイド(16:9)
モード対応の
テレビ



ON:CROP

画像の左右を切り捨てて、4:3のアスペクト比で表示する。

4:3テレビ



⌚ ご注意

• i.LINK入力については、[VCR HDV/DV]をご覧ください(47ページ)。

• 設定を変える前に、必ずi.LINKケーブルを抜いてください。つないだまま設定を変えると、ビデオ機器が映像信号を正しく認識できないことがあります。

■ VIDEO OUT

HDV規格の映像信号出力形式を設定します。以下の出力に対して有効です。

- COMPONENT出力(480i出力)

- S VIDEO出力

- AUDIO/VIDEO出力

► SQUEZE

ワイド(16:9)テレビやワイド(16:9)モード対応のテレビに出力する。

ワイド(16:9)
モード対応の
テレビ

ワイド(16:9)
モード対応の
テレビ



LETTER BOX

ワイド(16:9)モードに対応していないテレビに出力する。

4:3テレビ



EDGE CROP

画像の左右を切り捨てて、4:3のアスペクト比で表示する。

4:3テレビ



◆ ご注意

- [P] WIDE SELECT] を[16:9 WIDE]にして DV規格で撮影したテープを4:3テレビで見ると、接続するテレビによっては、画面の天地はそのまま、水平方向を圧縮して再生します。そのような4:3テレビで見るとときは、[P] WIDE SELECT] を[4:3]にして撮影してください。

STATUS CHECK

次の項目の設定値を確認できます。

OUTPUT

- [VCR HDV/DV] (POWERスイッチが「PLAY/EDIT」のとき)(47ページ)
- [COMPONENT] (50ページ)
- [i.LINK CONV] (50ページ)
- [VIDEO OUT] (50ページ)
- HDMI出力(92ページ)

HOURS METER

本機の通電時間、ドラム回転時間、テープ走行時間、アンスレッディング回数をそれぞれ累計して、画面に表示します。

- OPERATION

本機を操作した時間を累計して、10時間単位で表示する。

- DRUM RUN

ヘッドドラムが回転している時間を累計して、10時間単位で表示する。

- TAPE RUN

テープが走行している時間を累計して、10時間単位で表示する。

- THREADING

カセットを出し入れした回数を累計して、10回単位で表示する。

GUIDEFRAME

[ON]にすると、フレームを表示して、被写体が水平、垂直になっているかを確認できます。

フレームは記録されません。DISPLAY/BATT INFOボタンを押すと、フレームを消せます。

♪ ちょっと一言

- ガイドフレームの交差点に被写体を置くと、バランスの良い構図になります。

COLOR BAR

[ON]にするとカラーバーを表示したり、テープに記録することができます。接続したモニターの色を調整するときに便利です。

DATA CODE

撮影時に自動的に記録された情報(日時やカメラデータ)を再生時に表示できます。

► OFF

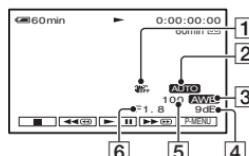
日時やカメラデータを表示しない。

DATE/TIME

日付、時刻を表示する。

CAMERA DATA(下記)

カメラデータを表示する。



①手ブレ補正

②明るさ調節

③ホワイトバランス

④ゲイン

⑤シャッタースピード

⑥絞り値

STANDARD SETメニュー(つづき)

⌚ ご注意

- “メモリースティック デュオ”の静止画再生時は、露出補正値(0EV)とシャッタースピード、絞り値が表示されます。
- [DATE/TIME]のときは、同じエリアに日時が表示されます。日時、時刻を設定せずに撮影すると、[--- - ---]と[--:--:]が表示されます。

REMAINING

▶ AUTO

次のときにテープ残量を約8秒間表示する。

- カセットが入った状態でPOWERスイッチを「PLAY/EDIT」か「TAPE」にしたとき
-  (再生/一時停止)をタッチしたとき

ON

テープ残量を常に表示する。

REC LAMP(録画ランプ)

[OFF]に設定すると、本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しないようにできます(お買い上げ時の設定は[ON])。

BEEP

▶ ON

撮影スタート/ストップ時、タッチパネルでの操作時などにメロディが鳴る。

OFF

操作音、シャッター音を出さない。

DISP OUTPUT(画面表示出力)

▶ LCD PANEL

タイムコードなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。

V-OUT/PANEL

画面表示をテレビ画面、液晶画面、ファインダーに出す。

MENU ROTATE

▶ NORMAL

をタッチするとメニュー項目が下に回転する。

OPPOSITE

をタッチするとメニュー項目が上に回転する。

CALIBRATION

87ページをご覧ください。

QUICK REC(クイック録画) HDV1080i

[ON]にすると、START/STOPボタンを押して撮影開始するまでの時間を少し短縮することができます。録画チャンスを逃したくないときに便利です。

▶ OFF

撮影開始までの時間は少しかかるが、つなぎめがきれいに撮れる。

ON()

POWERスイッチが「OFF(CHG)」、または撮影スタンバイが解除された状態からの撮影開始時間を短縮できる。

⌚ ご注意

- [ON]にすると、場面と場面の間が一瞬止まります(パソコンでの編集をおすすめします)。

⌚ ちょっと一言

- 撮影スタンバイの状態が約3分以上続くと、自動的にドラムの回転が止まり、スタンバイ状態が解除されます。これはテープを保護し、バッテリーの消耗を防ぐためです。

⌚TIME/LANGU. メニュー

操作方法は31ページをご覧ください。

CLOCK SET

13ページをご覧ください。

WORLD TIME

海外で使うときは、[−]/[+]で時差を設定し、現地時刻に合わせる。
時差を0に設定すると元の設定に戻る。

LANGUAGE

液晶画面の操作で言語を選ぶことができます。

⚡ ご注意

- ・日本語は選択できません。

パーソナルメニューを 変更する

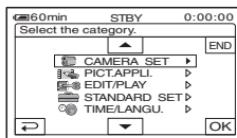
希望のメニュー項目を、POWERスイッチの位置ごとに、パーソナルメニューに登録できます。よく使う項目を登録しておくと便利です。

項目を追加する

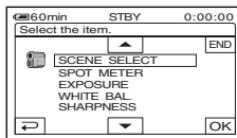
POWERスイッチの位置ごとに、最大28項目まで登録できます。登録数がいっぱいのときは、不要な項目を削除してください。

1 [P-MENU]→[P-MENU SET UP]→[ADD]をタッチする。

画面がないときは、[↖]/[↗]をタッチして表示させる。



2 [↖]/[↗]で設定項目を選び、[OK]をタッチする。



3 [↖]/[↗]で項目を選び、[OK]→[YES]→[X]をタッチする。

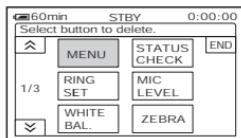
項目がパーソナルメニューの最後に追加される。

パーソナルメニューを変更する(つづき)

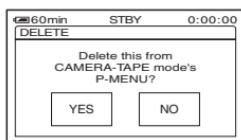
項目を削除する

- 1 [P-MENU]→[P-MENU SET UP]→[DELETE]をタッチする。

画面にないときは、[▲]/[▼]をタッチして表示させる。



- 2 削除する項目をタッチする。



- 3 [YES]→[X]をタッチする。

ご注意

- [MENU]と[P-MENU SET UP]は削除できません。

表示位置を並べ換える

- 1 [P-MENU]→[P-MENU SET UP]→[SORT]をタッチする。

画面にないときは、[▲]/[▼]をタッチして表示させる。

- 2 移動する項目をタッチする。

- 3 ▲/▼で項目を移動する。

- 4 [OK]をタッチする。

続けて並べ換えるときは手順2～4を行う。

- 5 [END]→[X]をタッチする。

ご注意

- [P-MENU SET UP]は並べ換えられません。

お買い上げ時の設定に戻す (リセット)

- [P-MENU]→[P-MENU SET UP]→[RESET]→[YES]→[YES]
→[X]をタッチする。

画面にないときは、[▲]/[▼]をタッチして表示させる。

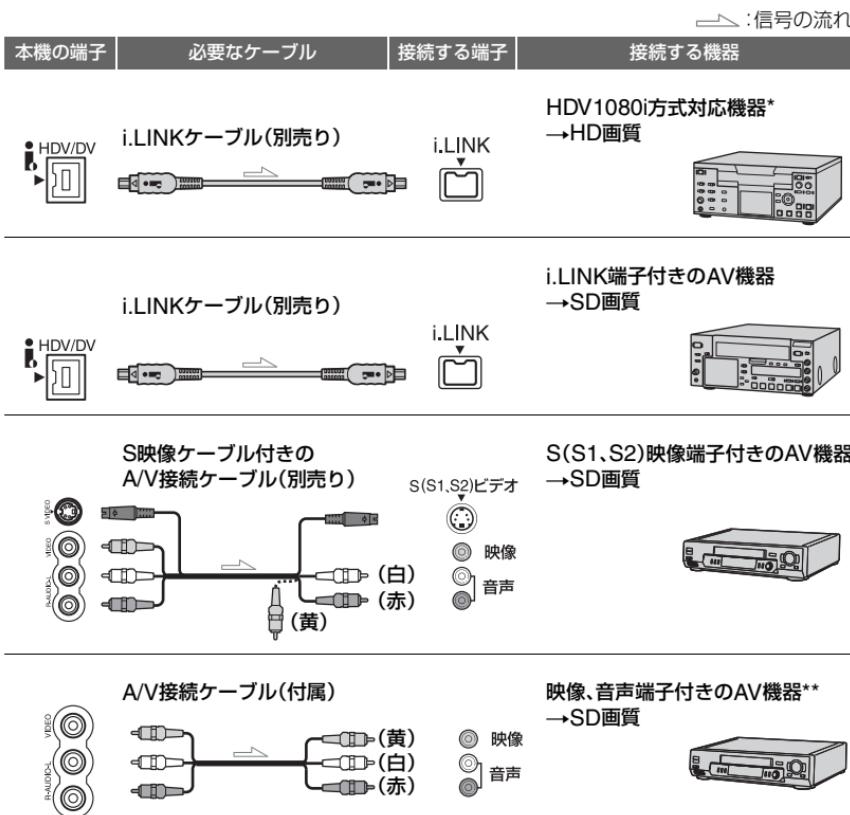
ダビングや編集をする

ビデオ、DVD/HDDレコーダーへダビングする

電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(10ページ)。
また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続する

ビデオ、DVD/HDDレコーダーの種類や接続する端子によって、接続方法や取り込まれる画質が異なります。



* HDV1080i方式対応のi.LINK端子が必要です。詳しくは接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

**モノラル(ひとつの音声入力)の場合は、A/V接続ケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグ(左音声)または赤いプラグ(右音声)を音声入力へつないでください。

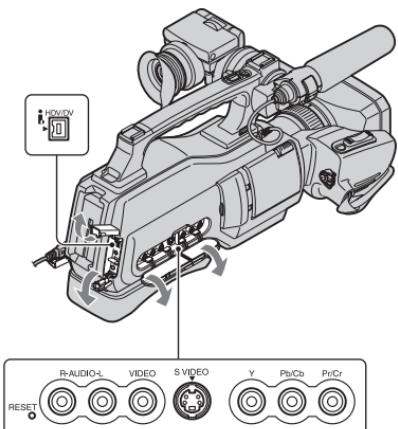
ビデオ、DVD/HDDレコーダーへダビングする(つづき)

④ ご注意

- HDMIケーブルを使ってのダビングはできません。
- DV規格で撮影した画像は、どの接続でもSD(標準)画質でダビングされます。

本機の端子について

端子カバーを開けて接続してください。



i.LINKケーブル(別売り)でつなぐときは

下記の表でダビングしたい規格を選び、必要なメニュー設定を行ってください。

⑤ ご注意

- メニュー設定を変える前に、i.LINKケーブルを抜いてください。つないでから設定を変えると、ビデオ、DVD/HDDレコーダーが映像信号を正しく認識できないことがあります。

			メニュー設定
テープに 記録した フォー マット	ダビング したい 規格	[VCR HDV/DV]	[i.LINK CONV]
HDVのみ	HDV ^{*1}	[AUTO] または HDV	[OFF]
	DV	[AUTO]	[ON: SQUEEZE]/ [ON:CROP]
HDVと DV の混在	HDV ^{*1}	[AUTO] または HDV ^{*2}	[OFF]
	DV	[AUTO] ^{*3}	[ON: SQUEEZE]/ [ON:CROP]
DVのみ	DV	[AUTO] またはDV	—

^{*1} ビデオ、DVD/HDDレコーダーがHDV1080i方式に対応している必要があります。

^{*2} DV規格で記録した部分はダビングされません。

^{*3} HDV規格で記録した部分とDV規格で記録した部分のどちらもダビングされます。

⑥ ご注意

- [VCR HDV/DV]が[AUTO]のときは、HDVとDVの信号が切り替わるときに一時画面が消えて、画像と音声が途切れます。
- 再生側と録画側の両方にHVR-HD1000JなどのHDV1080i方式対応機器を使用して、i.LINKケーブルで接続したときは、録画を一時停止または停止したあとで再開すると、スムーズにつながりません。
- A/V接続ケーブルでつなぐときは、[DISP OUTPUT]を[LCD PANEL](お買い上げ時の設定)にしてください(52ページ)。

S(S1、S2)端子つきのA/V接続ケーブル(別売り)でつなぐときは

映像プラグ(黄色)のかわりにS(S1、S2)映像端子を接続してください。A/V接続ケーブルでの接続に比べ、画像をより忠実に再現できます。S映像ケーブルのみをつないだ場合、音声は出力されません。

ダビングする

1 本機(再生側)の準備をする。

撮影済みのカセットを入れる。
POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 ビデオには録画用カセット、DVDレコーダーには録画用DVDを入れる。

入力切り換えスイッチがある場合は
「入力」(ビデオ1、ビデオ2入力など)
にする。

3 本機と録画側の機器(ビデオ、DVD/HDDレコーダー)をつなぐ。

接続について詳しくは、55ページをご覧ください。

4 本機で再生を始め、録画側の機器で録画を始める。

詳しくは、録画側の機器の取扱説明書をご覧ください。

5 ダビングが終わったら、録画側の機器の録画を停止し、本機の再生を停止する。

◆ ご注意

- A/V接続ケーブルでつなぐときは、再生機器(テレビなど)に合わせて、[VIDEO OUT]を設定してください(50ページ)。
- A/V接続ケーブルでつないで日時やカメラデータなどをダビングしたいときは、それらを表示させてください(51ページ)。

- HDV/DV端子(i.LINK)接続では、次のものは録画されません。

- 画面表示

- [PICT.EFFECT] (44ページ)/
[D.EFFECT] (44ページ)を加えた画像
- 他機で付けたタイトル

- HDV規格の場合は、再生一時停止中の画像や
変速再生している画像は HDV/DV端子
(i.LINK)から出力されません。

- i.LINKケーブル接続時は、次のことにご注意ください。

- 再生一時停止中の画像を録画すると、画像が
粗くなることがあります。
- ご使用する機器やアプリケーションなどに
よっては日時やカメラデータが表示、記録さ
れないことがあります。
- 映像または音声のみを記録することはでき
ません。

- i.LINKケーブルで接続してダビングするとき、
DVDレコーダー側から本機の操作が可能と説
明されている機器でも操作ができない場合が
あります。DVDレコーダーの入力モードを
「HDV」または「DV」に切り換えるなどして映
像の入出力が可能なときは、「ダビングする」の
手順でダビングしてください。

- ソニー製DVDレコーダーとのi.LINKケーブル
接続について詳しくは、下記のURLをご覧くだ
さい(2008年11月現在)。

<http://www.sony.jp/products/i-link/>

- i.LINKケーブル接続時は、デジタル信号でやり
とりをするので画質・音質の劣化がほとんどあ
りません。

- i.LINKケーブル接続時は、出力される信号の規
格(HDVout またはDVout)が
本機の液晶画面に表示されます。

ビデオの画像を本機で録画する i.LINK

ビデオの動画を本機のテープに録画できます。“メモリースティック デュオ”には静止画として記録できます。

あらかじめ、本機に録画用テープまたは“メモリースティック デュオ”を入れておいてください。本機とビデオをi.LINKケーブルでつなぎます。本機の電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(10ページ)。また、つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

HDV1080i
方式対応機器

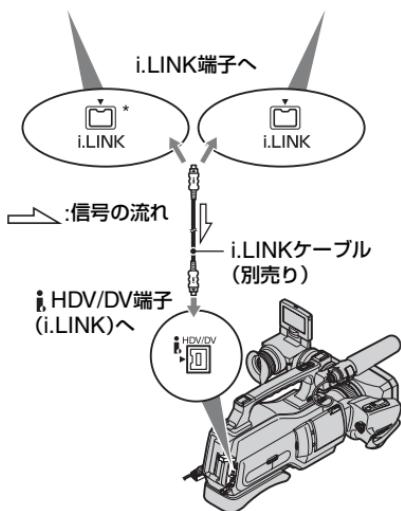


→HD画質

i.LINK出力端子
付きのAV機器



→SD画質



* HDV1080i 方式対応の i.LINK 端子が必要です。

動画を録画する

1 本機のPOWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 本機の入力信号を設定する。

HDV対応機器から録画するときには [VCR HDV/DV] を [AUTO] にする。 DV対応機器から録画するときには [VCR HDV/DV] を [DV] または [AUTO] にする(47ページ)。

3 ビデオを再生機としてi.LINKケーブルでつなぐ。

● ご注意

- i.LINKケーブル接続時は、入力される信号の規格(HDV IN i.LINK またはDV IN i.LINK)が本機の液晶画面に表示されます。(再生側の画面にも表示されることがありますが、録画はされません。)

4 ビデオにダビングするカセットを入れる。

5 本機で録画操作する。

[P-MENU] → [REC CTRL] → [REC PAUSE] をタッチする。
選択したい項目が画面にないときは、
[↖]/[↗]をタッチして表示させる。

6 ビデオを再生する。

再生側の画像が本機の画面に映ります。

7 録画を開始したい画面で [REC START] をタッチする。

8 録画を止める。

■(停止)または[REC PAUSE]をタッチする。

9 □→×

をタッチする。

◆ ご注意

- テレビ放送などの番組をHDV/DV端子(i.LINK)から録画することはできません。
- DV機器から画像を録画するとき、HDV規格で録画することはできません。
- 接続時は、次のことにご注意ください。
 - 再生一時停止中の画像を録画すると、画像が粗くなることがあります。
 - 映像または音声のみを記録することはできません。
 - 録画を一時停止または停止したあとで再開すると、スムーズにつながりません。
- 本機のHDV/DV端子に入力された映像信号は、i.LINK伝送信号のジッター(周波数のゆれ)がそのままCOMPONENT OUT端子、A/V OUT端子に出力されます。接続しているテレビモニターによっては、画像が乱れたり、表示されない場合がありますが、本機でテープに記録する画像に問題はありません。上記端子に他のビデオ機器を接続して記録する場合にはご注意ください。
- 4:3の映像信号を入力すると、本機の画面には左右が黒く表示されます。

静止画を記録する

1 「動画を録画する」の手順1~4を行なう。

2 ビデオを再生する。

再生側の画像が本機の液晶画面に映ります。

3 記録したい場面でPHOTOボタンを軽く押し、画像を確認したら深く押す。

テープの画像を“メモリースティックデュオ”に取り込む

テープに録画した動画からお好みの場面を静止画として“メモリースティックデュオ”に記録できます。あらかじめ録画済みのテープと“メモリースティックデュオ”を入れておいてください。

1 POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 場面を探して、取り込む。

▶(再生)をタッチしてテープを再生し、取り込む場面でPHOTOボタンを軽く押し、画面を確認して深く押す。

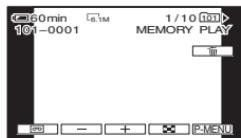
④ ご注意

- ・テープに記録された日時と“メモリースティックデュオ”に取り込んだときの日時が記録されます。本機ではテープに記録されたときの日時が表示されます。テープに記録されたカメラデータは記録できません。
- ・再生している画像がHDV規格のとき、画像サイズは1.2Mになります。再生している画像がDV規格でワイド(16:9)のとき、画像サイズは0.2Mに、4:3のときはVGA(0.3M)になります(41ページ)。
- ・再生ズームを使用中は、取り込むことはできません(24ページ)。

“メモリースティックデュオ”的画像を消す

1 POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 [MEMORY]をタッチする。



3 [ー]/[+]で削除する画像を表示させる。

4 [YES]をタッチする。

④ ご注意

- ・いったん削除した画像は元に戻せません。
- ・“メモリースティックデュオ”が誤消去防止になっているときやプロテクトされている画像(61ページ)は削除できません。

※ ちょっと一言

- ・すべての画像を消去するには、メニューの[ALL ERASE](42ページ)で削除します。
- ・インデックス表示画面(23ページ)で、[SET]→[DELETE]→削除する画像→[OK]→[YES]をタッチしても画像を削除できます。6枚ずつ画像を一覧できるので、消す画像を簡単に探せます。

“メモリースティック デュオ”的画像にマークをつける(プリントマーク/プロテクト)

誤消去防止スイッチ付きの“メモリースティック デュオ”的ときは、あらかじめ誤消去防止を解除してください。

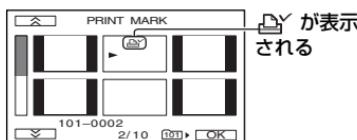
静止画にプリント用のマークを付ける(プリントマーク)

本機はプリントする画像を選択できるDPOF(Digital Print Order Format)規格に対応のため、マークを付けると、プリント時に選び直す必要がありません(プリント枚数は指定できません)。

1 POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 [MEMORY] → [■] → [SET] → [PRINT MARK]をタッチする。

3 プリントマークを付ける画像をタッチする。



4 [OK] → [END]をタッチする。

◆ご注意

- 他機でプリントマークを付けた画像が“メモリースティック デュオ”に入っているときに本機でプリントマークを付けると、他機でプリントマークをつけた画像の情報が変更される場合があります。

✿ ちょっと一言

- プリントマークをはずすには、手順**3**で、はずす画像をもう1度タッチします。

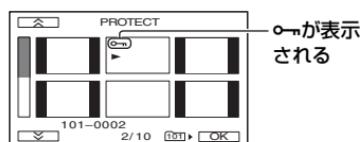
記録した画像を保護する(プロテクト)

画像に誤消去防止(プロテクト)指定できます。

1 POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 [MEMORY] → [■] → [SET] → [PROTECT]をタッチする。

3 プロテクトする画像をタッチする。



4 [OK] → [END]をタッチする。

✿ ちょっと一言

- プロテクトをはずすには、手順**3**で、はずす画像をもう1度タッチします。

記録した画像を印刷する(PictBridge対応プリンター)

PictBridge対応のプリンターを使えば、本機で撮影した静止画をパソコン無しで印刷できます。

PictBridge

本機と付属のACアダプターを使って、電源はコンセントから取ってください(10ページ)。

あらかじめ、本機に静止画を記録した“メモリースティック デュオ”を入れて、プリンターの電源を入れてください。

本機とプリンターを接続する

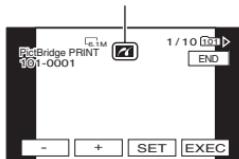
1 本機のPOWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

2 USBケーブルで本機のUSB端子とプリンターをつなぐ。

液晶画面に自動で[USB SELECT]が表示される。

3 [PictBridge PRINT]をタッチする。

本機とプリンターの接続が完了すると画面に (PictBridge接続中)が表示される。



“メモリースティック デュオ”に記録されている画像が表示される。

● ご注意

- ・PictBridge規格未対応機器との接続は、動作保証いたしません。

◎ ちょっと一言

- ・次の順番で操作しても同じです。

- [P-MENU] → [MENU] → [PICT.APPLI.]
→ [USB SELECT] → [PictBridge PRINT] をタッチする。

- [P-MENU] → [MENU] → [PICT.APPLI.]
→ [PictBridge PRINT] をタッチする。

印刷する

1 [-]/[+]で印刷する画像を選ぶ。

2 [SET] → [COPIES] をタッチする。

3 [-]/[+]で印刷部数を設定する。

1枚の静止画で最大20枚まで印刷部数を設定できます。

4 [OK] → [END] をタッチする。

日時を入れて印刷するには、[SET] → [DATE/TIME] → [DATE] または [DAY&TIME] → [OK] をタッチする。

5 [EXEC] → [YES] をタッチする。

印刷が完了すると [Printing...] の表示が消え、画像選択画面に戻ります。

印刷終了後、[END] をタッチする。

● ご注意

- ・プリンターの取扱説明書もあわせてご覧ください。

- ・画面に () が表示中に次の操作をすると、正常な処理が行われません。

- POWERスイッチを切り換える。

- プリンターからUSBケーブルを抜く。

- 本機から“メモリースティック デュオ”を抜く。
- プリンターが動作しなくなった場合は、USBケーブルを抜いてプリンターの電源を入れ直してから、操作をやり直してください。
- プリンターによっては、画像の上下左右が切れる場合があります。特に画像がワイド(16:9)のときは、左右が大きく切れる場合があります。
- プリンターによっては、日時印刷に対応していないものがあります。プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- 本機以外の機器で撮影した画像の印刷に関しては保証いたしません。
- PictBridge(ピクトブリッジ)とは、カメラ映像機器工業会(CIPA)で制定された統一規格のことです。メーカー・機種に関係なく、ビデオカメラやデジタルスチルカメラを直接プリンターに接続し、パソコンを使わずに画像を印刷できます。

パソコンと接続する

本機とパソコンを接続して、次の操作を行うことができます。

“メモリースティック デュオ”の静止画を取り込む
→64ページ

テープの動画をHDV規格で取り込む
→67ページ

テープの動画をDV規格で取り込む
→67ページ

接続について

本機とパソコンをつなぐには、次の2つの方法があります。

- USBケーブルでつなぐ
“メモリースティック デュオ”的画像を取り込むとき
- i.LINKケーブルでつなぐ
テープの画像を取り込むとき

パソコン接続時のご注意

- USBケーブルやi.LINKケーブルなどで本機とパソコンを接続する場合、端子の向きを確認してください。無理に押し込むと、端子部が破損することがあります。また、本機の故障の原因となります。
- 次の操作はできません。
 - USBケーブルで接続してテープの画像をパソコンに取り込む。
 - i.LINKケーブルで接続して“メモリースティック デュオ”的画像をパソコンに取り込む。
- USBケーブルをパソコンからはずすときは、正しい手順で操作してください(66ページ)。

静止画をパソコンに取り込む

パソコン環境について

Windowsをお使いの場合

- 対応OS: Windows 2000 Professional/
Windows XP Home Edition/Windows XP Professional/Windows Vista*

*64bit版は除きます。

上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。上記のOS内でもアップグレードした場合やマルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。

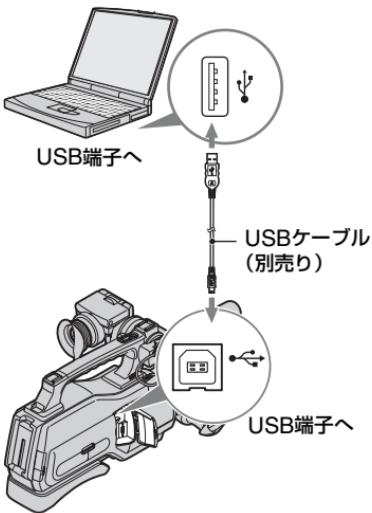
- CPU: MMX Pentium 200MHz以上
- その他必要な装置: USB端子標準装備

Macintoshをお使いの場合

- 対応OS: Mac OS 9.1/9.2/Mac OS X (v10.1/v10.2/v10.3/v10.4)
- その他必要な装置: USB端子標準装備

操作1:USBケーブルでつなぐ

- パソコンの標準ドライバで動作するので、ソフトウェアのインストールは不要です。
- パソコンにメモリースティック スロットがある場合は、画像を保存した“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプター(別売り)に入れてから、パソコンのメモリースティック スロットに差し込んで静止画を取り込むこともできます。
- “メモリースティック PRO デュオ”をお使いの際にパソコンが“メモリースティック PRO デュオ”に対応していない場合は、パソコンのメモリースティック スロットを使用せずに本機をUSBケーブルでつないでください。



- この段階では、まだ本機とパソコンをつながないでください。
- 本機の電源を入れる前に、本機とパソコンをUSBケーブルでつなぐと、本機がパソコンに認識されない場合があります。
- 推奨するつなぎかたについては67ページをご覧ください。

1 パソコンの電源を入れる。

使用中のアプリケーションは、終了させておいてください。

Windows 2000/ Windows XP/

Windows Vistaをお使いの場合

Administrator権限・コンピューターの管理者でログオンしてください。

2 本機に“メモリースティックデュオ”を入れる。

3 本機の電源を準備する。

電源は、付属のACアダプターを使ってコンセントからとってください(10ページ)。

4 本機のPOWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。

5 [P-MENU] → [MENU]
→ [PICT.APPLI.] → [USB SELECT] → [Memory Stick] をタッチする。

6 USBケーブルで本機のUSB端子とパソコンをつなぐ。

初回はパソコンが本機を認識するのに時間がかかることがあります。

操作2:画像を取り込む

Windowsパソコンのとき

[マイコンピュータ]内に表示される[リムーバブルディスク]アイコンをダブルクリックし、フォルダ内の画像をパソコンのハードディスクへコピーする。



静止画をパソコンに取り込む(つづき)

- ① フォルダ作成機能がない他のビデオカメラレコーダーで撮影した静止画が入っているフォルダ(再生のみ可能)
- ② 本機の画像フォルダ(新しくフォルダを作成していない場合は[101MSDCF]のみ)
- ③ フォルダ作成機能がない他のビデオカメラレコーダーで撮影した動画が入っているフォルダ(再生のみ可能)

フォルダ名	ファイル名	意味
101MSDCF (~999MSDCF)	DSC0□□ □□.JPG	静止画 ファイル

ファイル名の□□□□には、0001～9999までの数字があります。

Macintoshのとき

ドライブアイコンをダブルクリックし、取り込みたい画像ファイルをパソコンのハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップする。

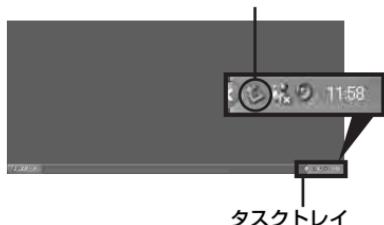
USBケーブルをはずす

Windowsパソコンのとき

本機の液晶画面に[USB CONNECTING]と表示されたときは、次のようにUSBケーブルをはずしてください。

- ① 画面右下にあるタスクトレイの中の、[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンをクリックする。

このアイコンをクリックする。



- ② [USB 大容量記憶装置デバイスードライブを安全に取り外します(停止します)]をクリックする。



- ③ [OK]をクリックする。
- ④ 本機とパソコンからUSBケーブルをはずす。

本機の液晶画面に[USB CONNECTING]と表示されていないときは、手順④のみ行ってください。

⑤ ご注意

- 正しい手順でUSBケーブルをはずさないと、“メモリースティック デュオ”内のファイルが正常に更新されない場合があります。また“メモリースティック デュオ”的故障の原因になります。

Macintoshのとき

- ① 使用中のアプリケーションを終了させる。
- ② パソコンの画面にあるドライブアイコンを[ゴミ箱]にドラッグ＆ドロップする。
- ③ 本機とパソコンからUSBケーブルをはずす。

⑥ ご注意

- Mac OS Xをお使いの場合は、パソコンの電源を切ってから、USBケーブルをはずし、本機から“メモリースティック デュオ”を取り出してください。
- 本機のアクセスランプが点灯中はUSBケーブルを抜かないでください。
- 本機の電源を切るときは、本機からUSBケーブルをはずしてから切ってください。

テープの動画をパソコンに取り込む

推奨するつなぎかた

本機を正しく動作させるためには、次のようにつないでください。

- パソコンのUSB端子に、USBケーブルで本機をつなぎ、他のUSB端子には何もつながない。
- USBキーボードとマウスが標準でついているパソコンの場合、キーボードをUSB端子につないだ状態で、本機をUSBケーブルで別のUSB端子につなぐ。
- 1台のパソコンに2台以上のUSB機器をつないだ場合の動作は保証していません。
- USBケーブルは、必ずパソコンのUSB端子につないでください。キーボードやUSBハブなどを経由してつながっている場合の動作は保証していません。
- パソコンのUSB端子にUSBケーブルがつながれていることを確認してください。
- 推奨環境のすべてのパソコンについての動作を保証するものではありません。

i.LINKケーブルで本機とパソコンをつなぎます。

お手持ちのパソコンにi.LINK端子が装備されていて、ビデオ信号の取り込みができる編集ソフトウェアがインストールされている必要があります。

撮影した画像やパソコンに取り込まれる規格(HDVまたはDV)によって、必要なソフトウェアが次の通り異なります。

撮影画像の規格	パソコンに取り込む規格	必要なソフトウェア
HDV	HDV	HDV規格の信号取り込み可能の編集ソフト
HDV	DV	DV規格の信号取り込み可能の編集ソフト
DV	DV	DV規格の信号取り込み可能の編集ソフト

⑥ ご注意

- USBケーブルを使って動画を取り込むことはできません。
- 画像の取り込み方法について詳しくは、ソフトウェアの説明書をご覧ください。
- 推奨するつなぎかたについては、お使いになるソフトウェアの説明書をご覧ください。
- 使用するパソコンのソフトウェアによっては、正しく動かない場合があります。
- DV規格→HDV規格に変換はできません。

撮影した画像やパソコンに取り込まれる規格(HDV規格またはDV規格)によって、必要なメニュー設定が異なります。

撮影画像の規格	パソコンに取り込む規格	メニュー設定*
HDV	HDV	[VCR HDV/DV]→ [HDV] [i.LINK CONV]→ [OFF]

テープの動画をパソコンに取り込む(つづき)

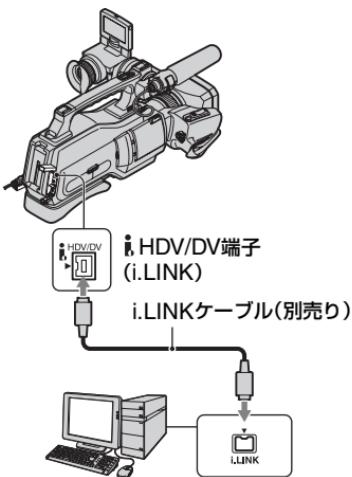
撮影画 像の規 格	パソコン に取り込 む規格	メニュー設定*
HDV	DV	[VCR HDV/DV] → [HDV] [i.LINK CONV] → [ON:SQUEEZE]/ [ON:CROP]
DV	DV	[VCR HDV/DV] → [DV] [i.LINK CONV] → [OFF]

* メニュー設定については、31ページをご覧ください。

ちょっと一言

- HDV規格の画像をそのまま取り込むには、 HDV規格に対応した環境が必要になります。 詳しくは各ソフトウェアの取扱説明書、もしくはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- 一般的なDVDプレーヤーで再生できるようにするためには、SD画質でDVDビデオを作成する必要があります。この場合、作成されたDVDはHDV規格ではありません。

操作1:i.LINKケーブルにつなぐ



パソコン接続時のご注意

- i.LINKケーブルは先にパソコンとつないでから、本機とつないでください。先に本機とつなぐと、静電気の発生などにより、本機の故障の原因となります。
- 次の場合、パソコンが本機を正しく認識できなかったり、パソコンがハングアップしたりすることがあります。
 - 本機の画面上に表示されている規格(HDVまたはDV)の信号が扱えないパソコンにつなぐ。
 - i.LINKケーブル接続中に、[VCR HDV/DV] (47ページ)と [i.LINK CONV] (50ページ) の設定を変える。
 - POWERスイッチが「TAPE」または「MEMORY」でi.LINKケーブル接続中に、[REC FORMAT] (48ページ)の設定を変える。
 - i.LINKケーブル接続中に、本機のPOWERスイッチを切り換える。

i.LINKケーブル接続時は、本機の画面に入出力信号の規格(HDVまたはDV)が表示されます。

操作2:動画を取り込む

本機の電源は付属のACアダプターを使ってください(10ページ)。

- ① 編集ソフトウェア(編集ソフトウェアは付属していません)を用意する。
- ② パソコンの電源を入れる。
- ③ 本機にテープを入れ、POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。
- ④ 本機のメニューを設定する。
撮影画像によってメニュー設定が異なります。
- ⑤ パソコンのソフトウェアを操作して動画を取り込む。

⌚ ご注意

- HDV規格に取り込みを行っても認識しない場合は編集ソフトウェアがHDV規格に対応していない可能性がありますので、手順④でDV規格へ変換して取り込みを行ってください。
- DV規格で記録したテープをHDV規格でパソコンに取り込むことはできません。

❀ ちょっと一言

- HDV規格で記録した画像データをパソコンに取り込んだ際のファイルの容量は、映像圧縮方式をMPEG2のまま変換せずに取り込んだ場合、10分の映像で、約2GBです。(DVファイルとほぼ同じです。)

パソコンから本機にHDV規格で取り込むには

[VCR HDV/DV]を[HDV]に、[i.LINK CONV]を[OFF]にする(47、50ページ)。

⌚ ご注意

- パソコンで編集したHDV規格の映像をテープへHDV規格で書き戻すには、お使いの編集ソフトウェアがHDV規格映像のテープへの書き出しに対応している必要があります。詳しくは各ソフトウェアメーカーへお問い合わせください。

パソコンから本機にDV規格で取り込むには

[VCR HDV/DV]を[DV]にする(47ページ)。

困ったときは

故障かな?と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

・全体操作	70
・バッテリー/電源	70
・液晶画面/ファインダー	71
・カセット/"メモリースティックデュオ"	71
・撮影	72
・再生	73
・テレビでの再生	74
・ダビング、編集、外部機器接続	75
・同時に使えない機能一覧	76

全体操作について

電源が入らない。

- ・充電されたバッテリーを取り付ける(10ページ)。
- ・ACアダプターをコンセントに差し込む(10ページ)。

電源が入っているのに操作できない。

- ・電源(バッテリーまたはACアダプターの電源コード)を取りはずし、約1分後に電源を取り付け直す。
- ・RESET(リセット)ボタン(92ページ)を先のとがったもので押す。(パーソナルメニュー項目以外のすべての設定が解除される。)

本体があたたかくなる。

- ・本機使用中に本体があたたかくなることがあります、故障ではありません。

バッテリー/電源について

電源が途中で切れる。

- ・バッテリーを充電する(10ページ)。

バッテリーの充電中、CHG(充電)ランプが点灯しない。

- ・POWERスイッチを「OFF(CHG)」にする(10ページ)。
- ・バッテリーを正しく取り付け直す(10ページ)。
- ・コンセントにプラグを正しく差し込む。
- ・すでに充電が完了している(10ページ)。

バッテリーの充電中、CHG(充電)ランプが点滅する。

- ・バッテリーを正しく取り付け直す(10ページ)。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店に問い合わせる。
- ・バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎると、充電できずにCHG(充電)ランプがゆっくり点滅することがあります。

バッテリー残量が正しく表示されない。

- ・周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分。故障ではありません。
- ・満充電し直す。それでも正しく表示されないとときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する(10、84ページ)。
- ・使用状況や環境によっては正しく表示されません。液晶画面を開閉したときは正しい残量時間を表示するまで約1分かかります。

バッテリーの消耗が早い。

- ・周囲の温度が極端に高い/低い、または充電が不充分。故障ではありません。
- ・満充電し直す。それでも消耗が早いときは、寿命のため、新しいバッテリーに交換する(10、84ページ)。

液晶画面/ファインダーについて

メニュー項目が灰色で表示される。

- その撮影/再生条件では選択できません。
- 機能によっては、一緒に使えないものがあります(76ページ)。

画面表示を消すことができない。

- [①]を消すことはできません。[①]をタッチしてお知らせメッセージを確認する(78ページ)。

タッチパネルのボタンが表示されない。

- 液晶画面を軽くタッチする。
- DISPLAY/BATT INFOボタンを押す(14ページ)。

タッチパネルのボタンが操作できない/正しく操作できない。

- タッチパネルを調節([CALIBRATION])する(87ページ)。

ファインダーの画像がはっきりしない。

- 視度調整つまみを画像がはっきり見えるように動かす(14ページ)。

液晶画面の電源がつかない

- LCD ON/OFFスイッチを「ON」にする。

カセット/“メモリースティック デュオ”について

カセットが取り出せない。

- 電源(バッテリーやACアダプター)が正しく接続されているか確認する(10ページ)。
- 本機が結露しかけている(86ページ)。

カセットメモリー付きカセットで、カセットメモリー表示やタイトル表示が出ない。

- 本機は、カセットメモリーに対応していないため、表示されません。

テープ残量表示が出ない。

- 常に表示させたいときは、[REMAINING]を[ON]にする(52ページ)。

テープの巻き戻し、早送り時の音が大きい。

- ACアダプター使用時は、バッテリー使用時より高速になるため音が大きくなります。故障ではありません。

“メモリースティック デュオ”を入れても、操作を受け付けない。

- POWERスイッチを「MEMORY」または「PLAY/EDIT」にする(13ページ)。
- パソコンでフォーマットした“メモリースティック デュオ”を入れている場合は、本機でフォーマットし直す(42ページ)。

テープの画像を削除できない。

- テープの画像は削除できません。新たに撮影する場合は、テープを巻き戻し、録画を開始すると上書きで記録される。

“メモリースティック デュオ”的画像消去、フォーマットができない。

- プロテクトを解除する(61ページ)。
- インデックス表示で一度に消せる画像は100枚までです。

プロテクト、プリントマークが実行できない。

- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”は、誤消去防止を解除する。
- インデックス表示にしてから、プロテクトを実行し直す(23, 61ページ)。
- プリントマークは1,000枚以上付けられません。

データファイル名が正しくない、または点滅している。

- ファイルが壊れている。
- 本機で対応しているファイル形式を使う(82ページ)。

撮影について

「カセット/“メモリースティック デュオ”について」(71ページ)もご覧ください。

START/STOPボタンを押しても、テープが走行しない。

- POWERスイッチを「TAPE」にする(17ページ)。
- テープが最後まで行っている。巻き戻すか、新しいカセットを入れる。
- カセットの誤消去防止ツマミをRECにする。または新しいカセットを入れる(81ページ)。
- 絶露でテープがヘッドドラムに貼り付いている。カセットを取り出して、約1時間してから入れ直す(86ページ)。

“メモリースティック デュオ”に記録できない。

- “メモリースティック デュオ”的空き容量がない。新しい“メモリースティック デュオ”を入れるか、フォーマットする(42ページ)。または不要な画像を削除する(60ページ)。
- POWERスイッチが「TAPE」で、次の設定のときは“メモリースティック デュオ”に静止画を記録することはできません。
- [SHUTTER SPEED]の設定が1/725秒～1/10000秒のとき
- [FADER]実行中
- [D.EFFECT]
- [PICT.EFFECT]
- [SMTH SLW REC]
- [COLOR BAR]

画角が異なって見える。

- 本機の状態によっては画角が異なって見える場合があります。故障ではありません。

テープできれいにつなぎ撮りできない。

- エンドサーチする(24ページ)。
- カセットを取り出さない(電源を切ってもきれいにつなぎ撮りできます)。
- 同じテープにHDV規格とDV規格の映像を混在させない。
- 同じテープにSPとLPの両モードを混ぜてつなぎ撮りしない。DV
- LPモードでつなぎ撮りしない。DV
- [QUICK REC]が[ON]のときは、きれいにつなぎ撮りできません(52ページ)。HDV1080i

エンドサーチができない。

- 撮影後にカセットを取り出さない(24ページ)。
- カセットを入れてからエンドサーチするまでに、1回も撮影していない。
- テープの始めや途中に無記録部分があるため、故障ではありません。

[COLOR SLOW S]が正しくできない。

- まったく光のない場所では、[COLOR SLOW S]が正しく働かないときがあるため、NightShotまたは[SUPER NS]で撮影する。

[SUPER NS]ができない。

- NIGHTSHOTスイッチが「ON」になっていない(20ページ)。

オートフォーカスができない。

- [FOCUS]を[AUTO]にする(37ページ)。
- オートフォーカスが働きにくい状態のときは、手動でピントを合わせる(37ページ)。

[STEADYSHOT] ができない。

- [STEADYSHOT] を[ON]にする(39ページ)。

画面に白や赤、青、緑の点が出ることがある。

- シャッタースピードが遅いとき、[SUPER NS]、[COLOR SLOW S]のときに出る現象で、故障ではありません。

画面をすばやく横切る被写体が曲がって見える。

- フォーカルブレーンと呼ばれる現象で、故障ではありません。撮像素子(CMOSセンサー)の画像信号を読み出す方法の性質により、撮影条件によっては、非常に速く画面を横切る被写体が少しうがんで見えることがあります。

画像の色が正しくない。

- NightShotを解除する(20ページ)。

画面が白すぎて画像が見えない。

- NightShot(20ページ)、逆光補正(21ページ)を解除する。

横帯が現れる。

- 蛍光灯・ナトリウム灯・水銀灯など放電管による照明下ではこのような症状が現れることがあります。故障ではありません。
- シャッタースピードを調節すると改善されることがある(36ページ)。

画面が上下分割されたように見える。

- 被写体にフラッシュ(別売り)を当てると、画面が上下分割されたように見える。このような場合は、スローシャッターを含めたなるべく遅いシャッタースピードで撮影すると画面が分割されて見える確率が下がる可能性があります。

テレビやパソコンの画面を撮影すると黒い帯が出る。

- [SHUTTR SPEED] を調節する(36ページ)。

再生について

「カセット/"メモリースティック デュオ"について」(71ページ)もご覧ください。

テープ再生ができない。

- POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。
- テープを巻き戻す(22ページ)。

逆方向に变速再生ができない。

- HDV規格で記録したテープではできません。

"メモリースティック デュオ"の画像データが再生できない。

- パソコンでフォルダやファイル名を変更、または画像加工すると、再生できない場合があります(ファイル名が点滅)。故障ではありません(83ページ)。
- 他機で撮影した画像は、再生できなかったり、正しいサイズで表示されないことがあります。故障ではありません(83ページ)。

画像に横線が入る、画像がぼけたり、映らなかつたりする。

- ビデオヘッドが汚れているので、別売りのクリーニングカセットできれいにする(86ページ)。

他機で4CHマイク記録した音声が聞こえない。DV

- [AUDIO MIX] を調整する(48ページ)。

故障かな?と思ったら(つづき)

細かい模様がちらつく、斜めの線がギザギザになる。

- [SHARPNESS]で[—]側に調整する(36ページ)。

音声が小さい。または聞こえない。

- 音量を大きくする(22ページ)。
- [AUDIO MIX]を[ST2]側(アフレコ音声)から最適な音声になるまで調節する(48ページ)。
- S映像プラグまたはコンポーネントビデオケーブルだけでつないでいるため、A/V接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ(25ページ)。
- [SMTH SLW REC]で録画中の約3秒間に音声を記録できません。

画像や音声が途切れる。

- 同じテープにHDV規格とDV規格の映像を混在させたときに起こる症状で、故障ではありません。

画像が一瞬静止画になる、音声が途切れる。

- テープやビデオヘッドに付着物があるときに起こる症状です(86ページ)。
- ソニー製のミニDVカセットを使用する。

[---]が表示される。

- 日付時刻を設定しないで録画したテープを再生している。
- テープの無記録部分を再生している。
- テープに傷やノイズがあると、日時やカラーデータを読みません。

ノイズが現れ、画面上にPALまたはNTSCと表示される。

- テープに記録されているTVカラーシステムがPALなど、本機のカラーシステム(NTSC)と違うため。故障ではありません。

エンドサーチ、レックレビューのときに画像が出ない。

- 同じテープにHDV規格とDV規格の映像を混在させたときに起こる症状で、故障ではありません。

画面上に♪4ch-12bが表示される。

- 他機で4CHマイク記録されたテープを再生しているときに表示されます。本機は4CHマイク記録には対応していません。

テレビでの再生について

i.LINKケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- テレビがHDV1080i方式に対応していない場合は、HD(ハイビジョン)画質で見ることはできません(25ページ)。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- HDV規格で撮影した映像をDV規格にダウングレードして、SD(標準)画質で再生する(50ページ)。
- 他の接続ケーブルで接続して再生する(25ページ)。

コンポーネントビデオケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- 接続する機器に合わせて STANDARD SETメニューの[COMPONENT]を正しく設定する(50ページ)。
- コンポーネントビデオケーブルだけでつないでいるため、A/V接続ケーブルの白と赤のプラグもあわせてつなぐ(25ページ)。

HDMIケーブルでテレビにつないで再生するとき、画像や音声が出ない。

- 著作権保護のための信号が記録されているDV規格の映像を、HDMI出力端子から出力することはできません。

- i.LINKでDV入力された画像(58ページ)を出力することはできません。
- 同じテープにHDV規格とDV規格の映像を混在させたときに起こる症状で、HDMIケーブルを抜き差しするか本機の電源を入れ直す。

4:3テレビにつないで再生したら、画像がつぶれて見える。

- ワイド(16:9)で撮影したテープを4:3テレビで見るときに起こる現象で、
 STANDARD SETメニューの[VIDEO OUT]を設定して再生する(50ページ)。

4:3テレビにつないで再生したら、上下に黒い帯が入る。

- ワイド(16:9)で撮影した動画を4:3テレビで見るときに起こる現象で、故障ではありません。

ダビング、編集、外部機器接続について

つないだ機器(外部入力)の映像が拡大できない。

- 外部入力している画像は本機でズームできません(24ページ)。

つないだ機器の画面にタイムコードなどが表示される。

- A/V接続ケーブルを使って接続するときは、メニューの[DISP OUTPUT]を[LCD PANEL]にする(52ページ)。

A/V接続ケーブルを使ってダビングができない。

- A/V接続ケーブルでつないだ機器から外部入力することはできません。
- A/V接続ケーブルが正しくつながっていない。
A/V接続ケーブルが他機の入力端子へつながれているか確認する。

ダビング編集中、i.LINKケーブルを接続しているのに、モニターに画像が出ない、画像が乱れる。

- 接続する機器に合わせて
 STANDARD SETメニューの[VCR HDV/DV]を正しく設定する(47ページ)。
- 接続する機器がHDV1080i方式に対応していない場合は、HD(ハイビジョン)画質でダビングできません(55ページ)。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
- HDV規格で撮影した画像をDV規格にダウンコンバートして、SD(標準)画質でダビングする(55ページ)。

追加録音(アフレコ)できない。

- 本機ではアフレコすることはできません。

HDMIケーブルを使ってダビングができるない。

- HDMIケーブルを使ってのダビングはできません。

他機でアフレコした音声が聞こえない。

-  AUDIO MIX]を[ST1](オリジナルテープ音声)側から最適な音声になるまで調節する(48ページ)。

テープから“メモリースティック デュオ”へ静止画を取り込めない。

- 繰り返しダビングしているなど記録状態の悪いテープは、録画できなかったり、乱れた画像が記録されたりすることがあります。

故障かな?と思ったら(つづき)

同時に使えない機能一覧

機能によっては一緒に使えないものがあります。下表は、同時に使えない機能やメニュー項目の例です。

使えない機能	以下の設定時
逆光補正	[FIREWORKS]、 [SPOT METER]、 [EXPOSURE]の [MANUAL]
[SCENE SELECT]	NightShot、[TELE MACRO]、 [CINEMA EFECT]、 [OLD MOVIE]、 [COLOR SLOW S]
[SPOT METER]	NightShot、 [CINEMA EFECT]
[EXPOSURE]	NightShot
[WHITE BAL.]	NightShot
[SHARPNESS]	[CINEMA EFECT]
カメラコントロール リング(RING)の [SHUTTR SPEED]	NightShot、 [CINEMA EFECT]、 [OLD MOVIE]、 [SMTH SLW REC]
[AE SHIFT]	[FIREWORKS]、 [EXPOSURE]の [MANUAL]、 [CINEMA EFECT]
[SPOT FOCUS]	[SCENE SELECT]
[TELE MACRO]	[SCENE SELECT]、テープ撮影中
[COLOR SLOW S]	NightShot、 [SCENE SELECT]、 [SHUTTR SPEED]の [MANUAL]、 [FADER]、 [D.EFFECT]
[HISTOGRAM]	[DIGITAL ZOOM]、 [D.EFFECT]、日付 時刻表示中

使えない機能	以下の設定時
[DIGITAL ZOOM]	[TELE MACRO]
[FADER]	[CANDLE]、 [FIREWORKS]、 [SUPER NS]、 [COLOR SLOW S]、[D.EFFECT]
[D.EFFECT]	[SUPER NS]、 [COLOR SLOW S]、[FADER]
[D.EFFECT]の [OLD MOVIE]	[SCENE SELECT]、 [PICT.EFFECT]、 [WIDE SELECT]の[4:3]
[D.EFFECT]の [CINEMA EFECT]	[SCENE SELECT]、[SPOT METER]、 [EXPOSURE]の [MANUAL]、[AE SHIFT]が0以外のとき、 [PICT.EFFECT]、 [WIDE SELECT]の[4:3]
[SMTH SLW REC]	[CANDLE]、 [FIREWORKS]、 [SHUTTR SPEED]の [MANUAL]、 [SUPER NS]、 [COLOR SLOW S]、[D.EFFECT]、 [PICT.EFFECT]

- [COLOR BAR]を設定しているときは、表中の「使えない機能」を使うことができません。

警告表示とお知らせメッセージ

自己診断表示/警告表示

液晶画面またはファインダーに、次のように表示されます。

お客様自身で対応できる場合でも、2、3回繰り返しても正常に戻らないときは、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

C:(またはE:)□□:□□ (自己診断表示)

C:04:□□

- ・“インフォリチウム”バッテリーLSリーズ以外のバッテリーが使われている。必ず“インフォリチウム”バッテリーLSシリーズを使う(83ページ)。
- ・ACアダプターのDCプラグを本機のDC IN端子にしっかりとつなぐ(10ページ)。

C:06:□□

- ・バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

C:21:□□

- ・結露している。カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す(86ページ)。

C:22:□□

- ・ビデオヘッドが汚れている。別売りのクリーニングカセットできれいにする(86ページ)。

C:31:□□/C:32:□□

- ・上記以外の症状になっている。カセットを入れ直し、もう1度操作し直す。ただし、本機が結露気味のときは、この操作をしないでください(86ページ)。
- ・電源をいったん取りはずし、取り付け直してからもう1度操作し直す。
- ・カセットを交換する。RESETボタン(92ページ)を押してからもう1度操作し直す。

E:61:□□/E:62:□□

- 修理が必要なため、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にご連絡いただき、Eから始まる数字すべてをお知らせください。

101-1001(ファイル関連の警告)

- ・ファイルが壊れている。
- ・扱えないファイル(82ページ)。

□(バッテリー残量に関する警告)

- ・バッテリー残量が少ない。
- ・使用状況や環境、バッテリーパックによっては、バッテリー残量が約5~10分でも警告表示が点滅することがある。

□(結露の警告)*

- ・カセットを取り出し、電源をはずして、カセット入れを開けたまま、約1時間放置する(86ページ)。

□("メモリースティック デュオ"関連の警告)

- ・"メモリースティック デュオ"が入っていない(16ページ)。

□("メモリースティック デュオ"フォーマット関連の警告)*

- ・"メモリースティック デュオ"が壊れている。
- ・"メモリースティック デュオ"が正しくフォーマットされていない(42, 82ページ)。

□(非対応"メモリースティック デュオ"関連の警告)*

- ・本機では使えない"メモリースティック デュオ"を入れた(82ページ)。

警告表示とお知らせメッセージ(つづき)

▲ (バッテリーの温度に関する警告)

- バッテリーが高温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを涼しいところに置く。

■ (バッテリーの温度に関する警告)

- バッテリーが低温になっている。バッテリーを交換するか、バッテリーを暖かいところに置く。

■ (テープ関連の警告)

遅い点滅

- テープ残量が5分を切った。
- カセットが入っていない。^{*}
- カセットが誤消去防止状態になっている(81ページ)。^{*}

速い点滅

- テープが終わっている。^{*}

▲(テープを取り出す必要がある警告)*

遅い点滅

- カセットが誤消去防止状態になっている(81ページ)。

速い点滅

- 結露している(86ページ)。
- 自己診断表示が表示されている(77ページ)。

○(画像消去に関する警告)*

- 画像が消去できないようになっている(61ページ)。

□ ○(“メモリースティック デュオ”誤消去防止に関する警告)*

- “メモリースティック デュオ”が誤消去防止状態になっている。

▼ (手ブレ警告)

- 手ブレが起りやすくなっているので、本機を両手でしっかりと固定して撮影する。ただし、手ブレマークは消えません。

* 警告表示が出るときに、「操作音」が鳴ります(52ページ)。

お知らせメッセージの例

お知らせメッセージが表示されたときは、その指示に従ってください。

♪ ちょっと一言

- [OK]が表示されているときは、タッチすると、メッセージが[]になることがあります。[]をタッチすると、再びメッセージが表示されます。

■ 結露

▲ Moisture condensation. Eject the cassette(86ページ)

■ Moisture condensation. Turn off for 1H. (86ページ)

■ カセット/テープ

▲ Reinsert the cassette.(15ページ)

- テープの損傷などがないかも確認する。

○ ▲ The tape is locked - check the tab. (81ページ)

■ “メモリースティック デュオ”

○ ▲ Reinsert the Memory Stick. (16ページ)

- “メモリースティック デュオ”を2,3回入れ直す。それでも表示されるときは“メモリースティック デュオ”が壊れている可能性があるので交換する。

This Memory Stick is not formatted correctly.

- “メモリースティック デュオ”のフォーマットを確認し、必要ならばフォーマットする(42、82ページ)。

Memory Stick folders are full.

- 作成できるフォルダは、999MSDCFまでです。本機でフォルダ消去はできません。
- フォーマットするか(42ページ)、パソコンで不要なフォルダを消去する。

■ デュアル記録

Cannot save still picture.

- デュアル記録したときは、テープ撮影を終了して“メモリースティック デュオ”への記録が完了するまで、本機から“メモリースティック デュオ”を抜かないでください(19ページ)。

■ PictBridge対応プリンター

Check the connected device.

- プリンターの電源を入れ直し、USBケーブルをいったん抜いてからもう一度つなぐ。

Cannot print. Check the printer.

- プリンターの電源を入れ直し、USBケーブルをいったん抜いてからもう一度つなぐ。

海外で使う

電源について

本機は、海外でも使えます。

付属のACアダプターは、全世界の電源(AC100V~240V, 50Hz/60Hz)で使えます。また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国や地域では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

電子式変圧器(トラベルコンバーター)は使わないでください。故障の原因となることがあります。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例		
主に北米		主にヨーロッパなど
使用する変換 プラグアダプ ター	不要	

HDV規格で記録した再生画像をHDV規格で見るには HDV1080i

HDV規格で記録した再生画像をHDV規格で見るには、HDV1080i方式対応のテレビ(またはモニター)とコンポーネントケーブル、A/V接続ケーブルが必要です。HDV1080i方式に対応している主な国、地域は、「テレビ方式がNTSCの国、地域」を参照してください。

DV規格で記録した再生画像をDV規格で見るには DV

DV規格で記録した再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式(NTSC、下記参照)で、映像/音声入力端子付きのテレビ(またはモニター)と接続ケーブルが必要です。

テレビ方式がNTSCの国、地域(五十音順)

アメリカ合衆国、エクアドル、エルサルバドル、ガイアナ、カナダ、キューバ、グアテマラ、グアム、コスタリカ、コロンビア、サモア、スリナム、セントルシア、大韓民国、台湾、チリ、ドミニカ、トリニダード・トバゴ、ニカラグア、日本、ハイチ、パナマ、バミューダ、バルバドス、フィリピン、ブルートリコ、ベネズエラ、ペルー、ボリビア、ホンジュラス、ミクロネシア、ミャンマー、メキシコなど

時差補正機能について

海外で使うとき、① TIME/LANGU.メニューの[WORLD TIME]を選ぶと、時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせられます(53ページ)。

使用上のご注意とお手入れ

HDV規格と記録・再生について

本機は、HDV規格とDV規格の両方の記録機能を搭載したビデオカメラレコーダーです。本機は、ミニDVカセットのみ使えます。

Mini DV マーク付きカセットを使ってください。

本機は、カセットメモリー機能には非対応です。

HDV規格とは

DVカセットにデジタルハイディフィニション(HD)映像の記録・再生ができるよう開発されたビデオ方式です。

本機では、有効走査線数1,080本のインターレース方式(1080i、画素数1,440×1,080ドット)を採用しています。

記録時の映像ビットレートは約25Mbpsです。

デジタルインターフェースにi.LINKを採用し、HDTVに対応するテレビやパーソナルコンピューターとのデジタル接続が可能です。

✿ ちょっと一言

- HDV映像信号の圧縮方式は、BSデジタルや地上デジタルのハイビジョン放送やブルーレイディスクレコーダーなどで採用されているMPEG2方式です。

再生について

DV規格とHDV規格の1080i方式の両方を再生できます。

本機ではHDV規格の720/30pで記録した画像を再生できますが、i.LINK端子(i.HDV/DV端子)から出力することはできません。

無記録部分を作らないために

テープを再生したときは、次の撮影の前にエンドサーチ(24ページ)を行って撮影終了位置に戻します。

著作権保護信号について

■ 再生するとき

本機で再生されるカセットに著作権保護のための信号が記録されている場合には、他機につないで本機の画像を記録するとき、記録が制限されることがあります。

■ 記録するとき

著作権保護のための信号が記録されている映像/音声は本機で記録することはできません。このような映像/音声を記録しようとすると、液晶画面またはファインダーに[Cannot record due to copyright protection.]が表示されます。なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

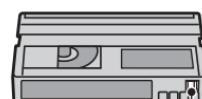
取り扱い上のご注意

■ 長い間使わないときは

本機からカセットを取り出して保管してください。

■ 間違って消さないために

カセットの背にある誤消去防止ツマミをSAVEの矢印のほうへずらします。



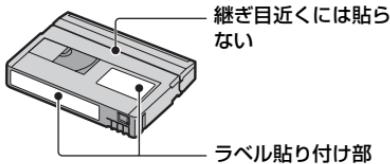
REC:録画できる。
SAVE:録画できない。
(誤消去防止状態)



■ ラベルは指定の位置に

カセットにラベルは、指定の位置に正しく貼ってください。指定以外の位置に貼ると故障の原因になります。

使用上のご注意とお手入れ(つづき)

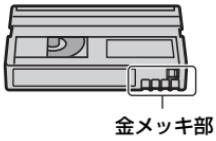


■ カセットの使用後は

必ずテープを巻き戻してください(画像や音声が乱れる原因となります)。巻き戻したテープはケースに入れ、立てて保管してください。

■ 金メッキ端子のお手入れ

カセットの金メッキ端子が汚れたり、ゴミが付着したりすると、テープ残量表示などが正しく表示されないことがあります。カセットの取り出し回数10回を目安にして、綿棒でカセットの金メッキ端子をクリーニングしてください。



“メモリースティック”について

“メモリースティック”(“Memory Stick”)は小さくて軽いのに大容量のIC記録メディアです。

本機は、標準の“メモリースティック”的約半分の大きさの“メモリースティックデュオ”的み使えます。ただし、すべての“メモリースティック デュオ”的動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”的種類 記録/再生

“メモリースティック デュオ”
(マジックゲート対応) ○

“メモリースティック PRO デュオ” ○

“メモリースティック”的種類

“メモリースティック PRO-HG デュオ” ○*

記録/再生

* 本機は8ビットパラレルデータ転送には対応せず、“メモリースティック PRO デュオ”と同等の4ビットパラレルデータ転送を行います。

- 本機はマジックゲート機能を使ったデータの記録/再生に対応していません。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。
- 本製品は“メモリースティックマイクロ”(“M2”)に対応しています。“M2”は“メモリースティックマイクロ”的略称です。
- パソコン(Windows OS/Mac OS)でフォーマット(初期化)した“メモリースティックデュオ”は、本機での動作を保証いたしません。
- お使いの“メモリースティック デュオ”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。
- 次の場合、画像ファイルが破壊されることがあります。破壊された場合、内容の補償についてはご容赦ください。
 - 画像ファイルを読み込み中や、“メモリースティック デュオ”にデータを書き込み中(アクセスランプが点灯中および点滅中)に、“メモリースティック デュオ”を取り出したり、本機の電源を切ったりした場合
 - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使った場合
- 大切なデータは、パソコンのハードディスクなどへバックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモアリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック デュオ”本体および“メモリースティック デュオ”アダプターにラベルなどは貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック デュオ”に付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。

- ・分解したり、改造したりしないでください。
- ・水にぬらさないでください。
- ・小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- ・“メモリースティック デュオ”スロットには、“メモリースティック デュオ”以外は入れないでください。故障の原因となります。
- ・次の場所での使用や保管は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

“メモリースティック デュオ”アダプターの使用について

- ・“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ”アダプターに入れてからお使いください。
- ・“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ”アダプターに入れるときは、正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック デュオ”アダプターに装着して“メモリースティック”対応機器でご使用になるときは、正しい挿入方向をご確認のうえお使いください。間違ったご使用は機器の破損の原因になりますのでご注意ください。
- ・“メモリースティック デュオ”アダプターに“メモリースティック デュオ”が装着されない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

“メモリースティック PRO デュオ”についてのご注意

- ・本機で動作確認されている“メモリースティック PRO デュオ”は8GBまでです。

“メモリースティック マイクロ”使用上のご注意

- ・“メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をデュオサイズのM2アダプターに入れてからお使いください。デュオサイズのM2アダプターに装着されていない状態で挿入されると、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- ・“メモリースティック マイクロ”は、小さいお子様の手の届くところに置かないようしてください。誤って飲み込むおそれがあります。

画像の互換性について

- ・本機は(社)電子情報技術産業協会にて制定された統一規格 “Design rule for Camera File system”に対応しています。
- ・統一規格に対応していない機器(DCR-TRV900, DSC-D700/D770)で記録された静止画像は本機では再生できません。
- ・他機で使用した“メモリースティック デュオ”が本機で使えないときは、本機で初期化をしてください(42ページ)。初期化すると“メモリースティック デュオ”に記録してあるデータはすべて消去されますので、ご注意ください。
- ・次の場合、正しく画像を再生できないことがあります。
 - パソコンで加工した画像データ
 - 他機で撮影した画像データ

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーについて

本機は“インフォリチウム”バッテリー(Lシリーズ)のみ使用できます。それ以外のバッテリーは使えません。“インフォリチウム”バッテリーLシリーズには

マークがついています。

InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りのACアダプター/チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信す

使用上のご注意とお手入れ(つづき)

る機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。別売りのACアダプター/チャージャーを使うと、使用可能時間や充電終了時間も計算して表示します。

充電について

- ・本機を使う前には、必ずバッテリーを充電してください。
- ・周囲の温度が10~30°Cの範囲で、CHG(充電)ランプが消えるまで充電することをおすすめします。これ以外では効率の良い充電ができないことがあります。
- ・充電終了後は、ACアダプターを本機のDC IN端子から抜くか、バッテリーを取りはずしてください。

バッテリーの上手な使いかた

- ・周囲の温度が10°C未満になるとバッテリーの性能が低下するため、使える時間が短くなります。安心してより長い時間使うために、次のことをおすすめします。
 - バッテリーをポケットなどに入れてあたたかくしておき、撮影の直前、本機に取り付ける。
 - 高容量バッテリー「NP-F770/F970(別売り)」を使う。
- ・液晶画面の使用や再生/早送り/巻き戻しなどを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。
高容量バッテリー「NP-F770/F970(別売り)」のご使用をおすすめします。

- ・本機で撮影や再生をしていないときは、こまめにPOWERスイッチを切るようにしましょう。撮影スタンバイ状態や再生一時停止中でもバッテリーは消耗しています。
- ・撮影には予定撮影時間の2~3倍の予備バッテリーを準備して、事前にためし撮りをしましょう。
- ・バッテリーは防水構造ではありません。ぬらさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- ・バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし、長時間高温で使ったり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安として使ってください。
- ・バッテリー残量時間が約5~10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する△マークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- ・バッテリーを長期間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使いつけてください。本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。

バッテリーの寿命について

- ・バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- ・寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

i.LINK(アイリンク)について

本機のHDV/DV端子はi.LINKに準拠した端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。複数のi.LINK

対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

⌚ ご注意

- i.LINKケーブルで本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるHDV/DV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

⌚ ちょっと一言

- i.LINK(アイリンク)はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
- IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、次の3種類があります。

- | |
|------------------------|
| S100(最大転送速度 約100Mbps*) |
| S200(最大転送速度 約200Mbps) |
| S400(最大転送速度 約400Mbps) |

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。

最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？

「Mega bits per second」の略で「メガビーピーベース」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

他のi.LINK端子付きビデオとつないでダビングする方法については57ページをご覧ください。

また、本機はビデオ機器以外のソニー製i.LINK対応機器(パーソナルコンピューターVAIOシリーズなど)とも接続してご使用になります。なお、デジタルテレビ、DVD、MICROMV、HDVなどの映像機器には、i.LINK端子を搭載しながらも、本機とは対応できない仕様のものがあります。接続の際はあらかじめHDV/DV対応の有無をご確認ください。

接続の際のご注意および、本機に対応したアプリケーションソフトの有無などについては、接続する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

⌚ ご注意

- i.LINK端子を持つ機器と本機をi.LINK接続する場合は、あらかじめ機器の電源を切って電源プラグをコンセントから抜いた状態で、i.LINKケーブルを抜き差してください。

必要なi.LINKケーブル

ソニー製i.LINKケーブルを使ってください。4ピン↔4ピン(HDV/DVダビング時)

なお、純正品以外のケーブル使用による端子の破損、故障、損害については、弊社では責任を負いかねます。また、この場合の弊社製品の修理については、保証期間内でも有償修理とさせていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

x.v.Color(エックスブイ・カラー)について

- x.v.Colorとは、xvYCC規格の親しみやすい呼称としてソニーが提案している商標です。
- xvYCC規格とは、動画色空間の国際規格のひとつです。現行の放送などで使われている規格より広い色彩が表現できます。

本機の取り扱いについて

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。

- 異常に高温、低温または多湿になる場所
炎天下や熱器具の近く、夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることができます。

使用上のご注意とお手入れ(つづき)

- 激しい振動や強力な磁気のある場所
故障の原因になります。
- 強力な電波を出す場所や放射線のある場所
正しく撮影できないことがあります。
- TV、ラジオやチューナーの近く
雑音が入ることがあります。
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
砂がかかると故障の原因になるほか、修理できなくなることもあります。
- 液晶画面やファインダー、レンズが太陽に向い
たままとなる場所(窓際や室外など)
液晶画面やファインダー内部を傷めます。

■ 長期間使用しないときは

- 3分間ほど再生するなどして、ときどき電源を入れてください。
- バッテリーは使い切ってから、保管してください。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、「▲Moisture condensation. Eject the cassette」または「Moisture condensation. Turn off for 1H.」と警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

■ 結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、「OPEN/EJECT」つまり以外は働きません。電源を切ってカセットカバーを開けたまま、結露がなくなるまで(約1時間)放置してください。電源を入れてもお知らせメッセージが出す、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても \blacksquare や \blacktriangle が点滅しなければ使えます。結露気味のときは、本機が結露を検出できないことがあります。このようなときは、

カセットカバーを開けてから約10秒間カセットが出てこないことがあります、故障ではありません。

カセットが出てくるまでカセットカバーを閉めないでください。

■ 結露が起きたやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

■ 結露を起きたにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドについて

HDV規格で記録したテープを再生すると、まれに再生中の画像と音声が一瞬(約0.5秒)停止することがあります。

テープやビデオヘッドに付着物があるなどしてHDV規格の信号をテープに正しく記録、再生できなかった時に起こる現象で、カセットによってはごくまれに、新品またはご利用期間が短いにもかかわらず発生することができます。

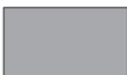
再生時に起きたときは、テープを少し送つて巻き戻すと問題なく見ることができる場合がありますが、記録時に起きたときは、その部分を修復することはできません。

このような事態を予防するためにもソニー製ミニDVカセットのご使用をおすすめします。

- 以下のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットを10秒間再生してビデオヘッドをきれいにしてください。
 - 再生画面の一部が動かない。
 - 再生画像が出ない。
 - 音声が途切れる。
 - 録画中に [Dirty video head. Use a cleaning cassette.] が表示される。
 - HDV規格のときに以下の現象が起こる。



再生画像が一時停止する

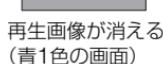


再生画像が消える
(青1色の画面)

- DV規格のときに以下の現象が起こる。



四角いノイズが出る。



再生画像が消える
(青1色の画面)

- ビデオヘッドは長時間使うと摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

液晶画面について

- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがあります。異常ではありません。
- 使用中に液晶画面のまわりが熱くなりますが、故障ではありません。

■ お手入れ

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などで拭いてください。別売りの液晶クリーニングキットを使うときは、クリーニングリキッドを直接液晶画面にかけず、必ずクリーニングペーパーに染み込ませて使ってください。

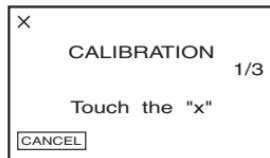
■ タッチパネルの調節

(CALIBRATION)について

タッチパネルのボタンを押したとき、反応するボタンの位置にずれが生じることがあります。

このような症状になったときは、次の操作を行ってください。電源は付属のACアダプターを使ってコンセントから取ることをおすすめします。

- ① POWERスイッチを「PLAY/EDIT」にする。
- ② → [MENU] → STANDARD SET → [CALIBRATION] → [OK] をタッチする。



- ③ 「メモリースティック デュオ」の角のよ
うな先の細いものを使って、画面に表示さ
れる×マークを押す。
×マークの位置は変わります。

解除するには手順③で[CANCEL]をタッチする。

正しい位置を押さなかった場合、やり直しになります。

● ご注意

- 液晶画面を外側に向けたときは、キャリブレーションできません。

使用上のご注意とお手入れ(つづき)

本機表面のお手入れについて

- ・汚れのひどいときは、水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。
- ・本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、次のことは避けてください。
 - シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、殺虫剤、日焼け止めのような化学薬品類の使用。
 - 上記が手に付いたまま本機を扱う。
 - ゴムやビニール製品との長時間接触。

レンズのお手入れと保管について

- ・レンズ面に指紋などが付いたときや、高温多湿の場所や海岸など塩の影響を受ける環境で使ったときは、必ず柔らかい布などでレンズの表面をきれいに拭いてください。
- ・風通しの良いゴミやほこりの少ない場所に保管してください。
- ・カビの発生を防ぐために、上記のお手入れは定期的に行ってください。また本機を良好な状態で長期にわたって使っていただくなためにも、月に1回程度、本機の電源を入れて操作することをおすすめします。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機がACアダプターでコンセントにつながっているか、バッテリーが入っている限り常に充電されています。ACアダプターで電源につながない、またはバッテリーを入れないままで**3か月**近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。

ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

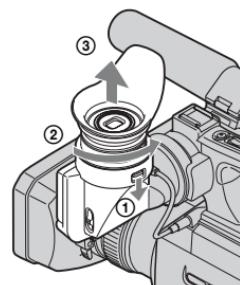
■ 充電方法

本機を付属のACアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、POWERスイッチを「OFF (CHG)」にして24時間以上放置する。

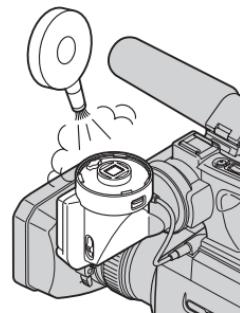
ファインダーのお手入れについて

1 接眼部をはずす。

ビューファインダー取りはずしつまみを下にずらしたまま①、ビューファインダーを反時計回りに回して左側のIマークを合わせ②、接眼部をはずす③。



2 接眼部の内側、ファインダー内部のゴミを、カメラ用のプロワープラシなどで取り除く。



3 手順1の逆の手順で接眼部を取り付ける。

ビューファインダーの左側の■マークを合わせて、「カチッ」というまで時計回りに回して、取り付ける。

“メモリースティック デュオ”を廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、“メモリースティック デュオ”内のデータは完全に消去されないことがあります。“メモリースティック デュオ”を譲渡するときは、パソコンのデータ消去用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また“メモリースティック デュオ”を廃棄するときは、“メモリースティック デュオ”本体を物理的に破壊することをおすすめします。

システム

録画方式 (HDV)	回転2ヘッドヘリカルスキャン
録画方式 (DV)	回転2ヘッドヘリカルスキャン
静止画記録方 式	Exif Ver.2.2 ^{*1}
録音方式 (HDV)	回転ヘッド MPEG-1 Audio Layer2 16ビット48kHz(ステレオ) 転送レート 384kbps
録音方式 (DV)	回転ヘッド 12ビット32kHz (ステレオ1、ステレオ2) 16ビット48kHz(ステレオ)
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式 1080/60i方式
使用可能力 セット	Mini DVマークのついたミニDV力 セット
テープ速度 (HDV)	約18.812mm/秒
テープ速度 (DV)	SP:約18.812mm/秒 LP:約12.555mm/秒
録画/再生時 間(HDV)	60分(DVM60使用時)
録画/再生時 間(DV)	SP:60分(DVM60使用時) LP:90分(DVM60使用時)
早送り、 巻き戻し時間	バッテリー使用時: 約2分40秒(DVM60使用時) ACアダプター使用時: 約1分45秒(DVM60使用時)
ファインダー	電子ファインダー:カラー
撮像素子	6.3mm(1/2.9型)CMOSセン サー 記録画素数:静止画時最大610万 画素相当 ^{*2} (2 848 × 2 136)(4: 3モード) 総画素数:約320万画素 動画時有効画素数(16:9モー ド):約228万画素 動画時有効画素数(4:3モード): 約171万画素 静止画時有効画素数(16:9モー ド):約228万画素 静止画時有効画素数(4:3モー ド):約304万画素

主な仕様(つづき)

ズームレンズ カール ツァイス バリオゾナー
T*

10倍(光学)、20倍(デジタル)

f=5.4~54mm

35mmカメラ換算では

「TAPE」時:

40~400mm(16:9モード)
(4:3モードでは49~490mm)

「MEMORY」時:

40~400mm(16:9モード)
(4:3モードでは37~370mm)

F1.8~2.9

フィルター径37mm

色温度切り換
え [AUTO]、[ONE PUSH]、
[INDOOR](3 200K)、
[OUTDOOR](5 800K)

最低被写体照
度 5 lx(ルクス)([AUTOSLW
SHTR] [ON]、[SHUTTR
SPEED] 1/30秒)
0 lx(ルクス)(NightShot時)

*¹ (社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画用のファイルフォーマット。

*² ソニー独自のクリアピッドCMOSセンサーの画素配列と画像処理システムエンハンスドイメージングプロセッサーにより、静止画は表記の記載サイズを実現しています。

入/出力端子

VIDEO OUT ピン端子
端子 1Vp-p、75Ω

S VIDEO
OUT端子 4ピンミニDIN
輝度信号: 1Vp-p、75Ω
色信号: 0.286Vp-p、75Ω

AUDIO
OUT端子 ピンジャック
音声: 327mV(47kΩ負荷時)、
出力インピーダンス2.2kΩ以下

COMPONENT
NT OUT端子 Y: 1Vp-p、75Ω
Pb/Pb: Cb/Cr: ±350mV、75Ω

HDMI OUT HDMIコネクター
端子

ヘッドフォン ステレオミニジャック(ø 3.5)
端子

LANC端子 ステレオミニミニジャック
(ø 2.5)

USB端子 タイプB

MIC (PLUG IN POWER) ステレオミニジャック(ø 3.5)

端子

i HDV/DV端子 i.LINK(IEEE1394 4ピンコネクター S100)

液晶画面

画面サイズ 6.7cm(2.7型、アスペクト比
16:9)

総ドット数 211 200ドット
横960×縦220

電源部、その他

電源電圧 バッテリー端子入力7.2V
DC端子入力8.4V

消費電力 ファインダー使用時、明るさ標準:

HDV記録時 4.6W

DV記録時 4.4W

液晶画面とファインダー使用時、明るさ標準:

HDV記録時 5.0W

DV記録時 4.8W

動作温度 0°C~40°C

保存温度 -20°C~+60°C

外形寸法 265×231×460mm
(最大突起部を含む)(幅×高さ×奥行き)

265×231×460mm
(突起部含む、付属バッテリー
パックNP-F570装着状態)

本体質量 約2.7kg(本体のみ)

撮影時総質量 約3.0kg(バッテリーNP-F570、
テープ(DVM60)含む。)

付属品 7ページをご覧ください。

保証書とアフターサービス

ACアダプター AC-L100

電源	AC100V~240V、50Hz/60Hz
消費電力	18W
定格出力	DC8.4V *
動作温度	0°C~40°C
保存温度	-20°C~+60°C
外形寸法	約48×29×81mm(最大突起部をのぞく)(幅×高さ×奥行き)
質量	約170g(本体のみ)

* その他の仕様については AC アダプターのラベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパック NP-F570

最大電圧	DC8.4V
公称電圧	DC7.2V
容量	公称容量: 15.8Wh(2 200mAh) 定格(最小)容量: 15.0Wh(2 100mAh)
最大外形寸法	約38.4×20.6×70.8mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約100g
使用温度	0°C~40°C
使用電池	Li-ion

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

このデジタルHDビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

■ 調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな?と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

■ それでも具合の悪いときは
ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

■ 保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

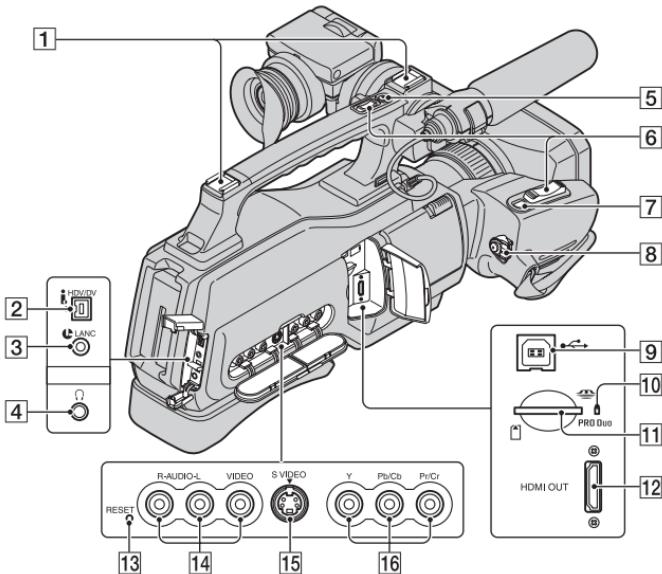
■ 部品の保有期間について
当社はデジタルHDビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ソニー業務用商品相談窓口またはお買い上げ店にお問い合わせください。

■ 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

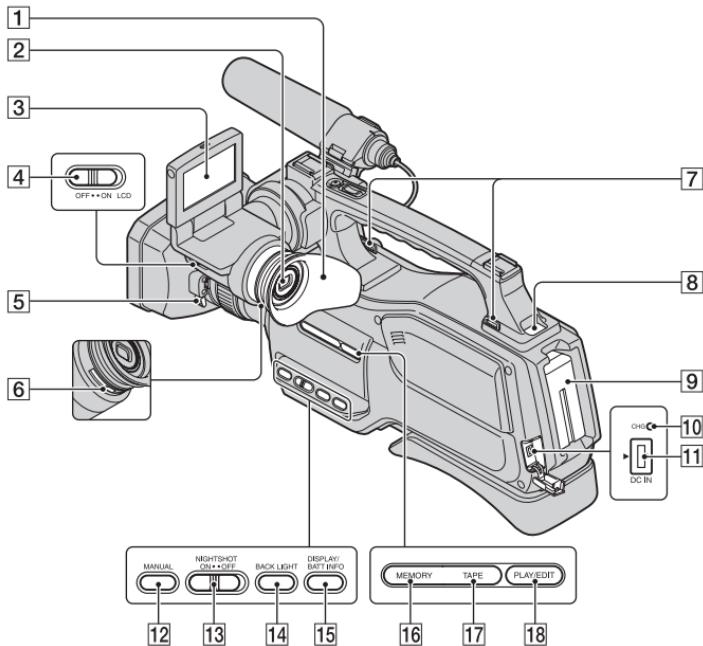
各部のなまえ

()内は参照ページです。



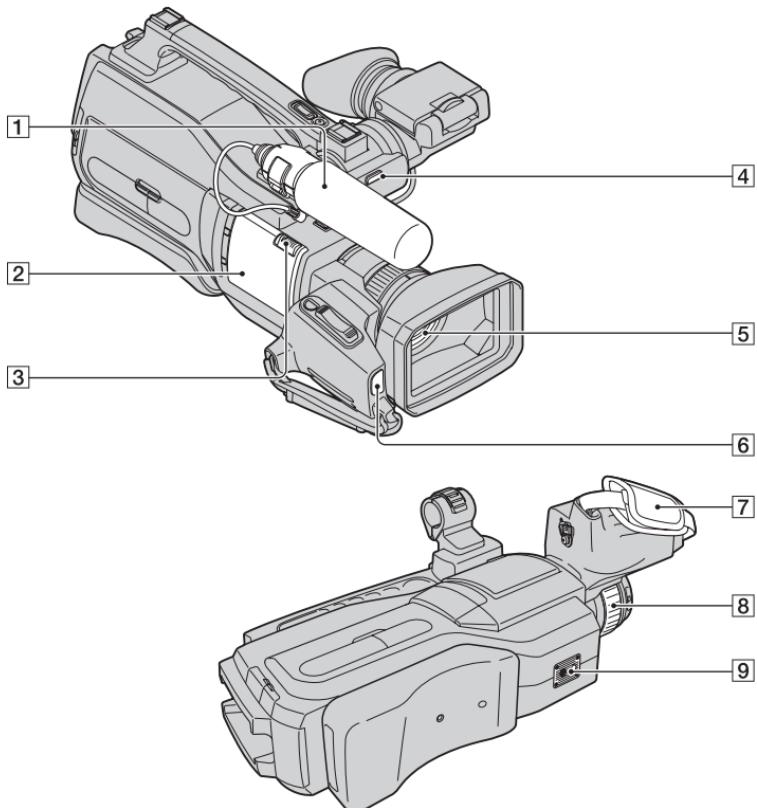
- 1** アクセサリーシュー
- 2** iHDV/DV 端子(i.LINK) (25、56、58)
- 3** LANC 端子(青色)
ビデオ機器と周辺機器をつなぎ、テープ走行などをコントロールできます。
- 4** Φ(ヘッドホン)端子
- 5** REC START/STOP ボタン(17)
- 6** ズームレバー(19)
- 7** PHOTO ボタン(17)
- 8** POWER スイッチ(13)
- 9** ↪(USB)端子(62)
- 10** アクセスランプ(16、82)
- 11** “メモリースティック デュオ”スロット(16)

- 12** HDMI OUT 端子(出力のみ対応)(25)
モニターが対応している映像信号を読み取り、最適な出力形式を自動的に選択し、出力します。
• [STATUS CHECK]でHDMI出力の設定値を確認できます(51ページ)。
- 13** RESET(リセット)ボタン
日時を含めすべての設定が解除されます。(パーソナルメニューに設定した内容は解除されません。)
- 14** A/V OUT 端子(25、56)
- 15** S VIDEO OUT 端子(25)
- 16** COMPONENT OUT 端子(25)



- 1 アイカップ**
- 2 ファインダー(14)**
- 3 液晶画面 / タッチパネル(3, 14)**
- 4 LCD ON/OFF スイッチ(14)**
- 5 レンズフード取りはずしレバー(9)**
- 6 視度調整つまみ(14)**
- 7 ショルダーベルト取り付け部
ショルダーベルト(別売り)を取り付ける。**
- 8 BATT(バッテリー)RELEASE ボタン
(11)**
- 9 バッテリーパック(10)**
- 10 CHG(充電)ランプ(10)**
- 11 DC IN 端子(10)**
- 12 MANUAL ボタン(20)**
- 13 NIGHTSHOT スイッチ(20)**
- 14 BACK LIGHT ボタン(21)**
- 15 DISPLAY/BATT INFO ボタン(11)**
- 16 MEMORY モードランプ(13)**
- 17 TAPE モードランプ(13)**
- 18 PLAY/EDIT モードランプ(13)**

各部のなまえ(つづき)



① マイク(8)

② カセットカバー(15)

③ ▶ OPEN/EJECT つまみ(15)

④ 録画ランプ

- 録画時に赤く点灯します(52ページ)。
- テープやバッテリーの残量が少なくなると点滅します。

⑤ レンズ(カールツァイスレンズ搭載)
(4)

⑥ 赤外線発光部

⑦ グリップベルト

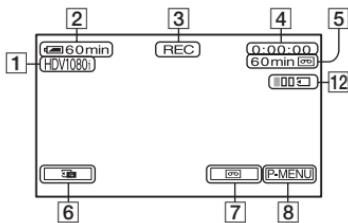
⑧ カメラコントロールリング(RING)
(20)

⑨ 三脚用ネジ穴

三脚(別売り、ネジの長さが5.5mm以下)を
三脚用ネジ穴に取り付ける。

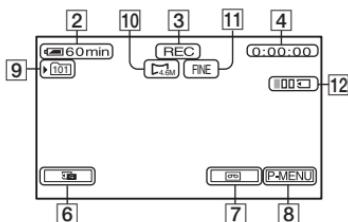
画面表示

動画を撮影中



- ① 录画フォーマット (HDV1080) または DV (48)
录画フォーマットがDVのときは、录画モード (SPまたはLP) も表示されます。
- ② バッテリー残量の目安
- ③ 撮影状態 ([STBY]/[REC])
- ④ 撮影中: テープカウンター(時:分:秒)
再生中: タイムコード(時:分:秒 : フレーム)
- ⑤ テープ残量の目安(52)
- ⑥ “メモリースティック デュオ”静止画レビューボタン(18)
“メモリースティック デュオ”が入っているときに表示されます。
- ⑦ エンドサーチ / レックレビュー画面切り換えボタン(24)
- ⑧ パーソナルメニュー ボタン(31)

静止画を同時撮影するとき (デュアル記録)

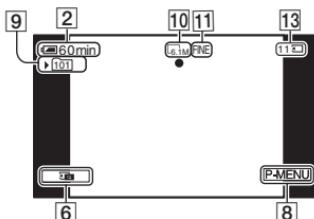


- ⑨ 記録先のフォルダ(42)
- ⑩ 画像サイズ(40)

⑪ 画質 ([FINE] または [STD])(40)

⑫ 記憶枚数表示(19)

静止画を撮影中



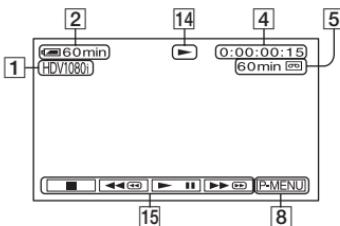
- ⑬ “メモリースティック デュオ”表示と記録可能なおよその枚数

撮影時のデータについて

撮影中の日付時刻と撮影条件を示したカメラデータが自動的に記録されます。
これらのデータは、撮影中には表示されませんが、再生時に [DATA CODE] として確認できます(51ページ)。

画面表示(つづき)

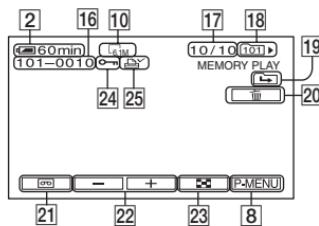
動画を再生中



14 テープ走行表示

15 ビデオ操作ボタン(22)

静止画を再生中



16 データファイル名

17 再生中の画像番号 / フォルダ内の合計枚数

18 再生フォルダ(42)

19 前後フォルダ表示

“メモリースティック デュオ”内に複数のフォルダがあるとき、フォルダ内の最初/最後の画像になると表示されます。

◀ : □ で前フォルダへ

▶ : □ で次フォルダへ

◀▶ : □ / □ で前/次フォルダへ

20 画像消去ボタン(60)

21 テープ再生切り換えボタン(23)

22 前の画像 / 次の画像ボタン(23)

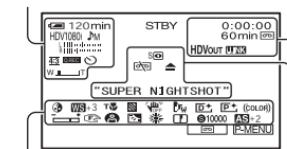
23 インデックス表示ボタン(23)

24 プロテクト(61)

25 プリントマーク(61)

設定を変更したときの表示

画面左上



画面下

画面右上



画面中央

画面左上

表示	意味
HDV1080i DV	録画フォーマット(48)
♪M	手動音量調節(49)
♪16b	音声モード*(48)
SP LP	録画モード*(48)
⌚	セルフタイマー録画(39)
4:3	ワイド(16:9)切換*(48)
Q.REC	QUICK REC**(52)
♪□	インターバル静止画記録 (43)

画面右上

表示	意味
HDVIn DVIn	HDV入力/DV入力(58)
HDVout DVout	HDV出力/DV出力(25、57)
i.LINK	i.LINK接続(25, 57, 58)
[all] [1] ↻	スライドショー(43)

画面中央

表示	意味
	Color Slow Shutter(38)
	PictBridge接続中(62)
	警告(77)
	NightShot(20)
	Super NightShot(38)

画面下

表示	意味
AS	AE SHIFT(36)
WS	WB SHIFT(37)
P+	PICT.EFFECT(44)
D+	D.EFFECT(44)
	手動フォーカス(37)
	SCENE SELECT(34)
	SHARPNESS(36)
	逆光補正(21)
	WHITE BAL.(35)
	STEADYSHOT(39)
	ZEBRA(38)
	TELE MACRO(37)
	CAMERA COLOR(37)
	CONV.LENS(39)
	X.V.COLOR(39)
	SPOT METER(35)/EXPOSURE(35)
	SHUTTR SPEED(36)
	RING SETTINGのZOOM(20)

* DV規格のときのみ設定できます。

** HDV規格のときのみ設定できます

◎ 云注意

- 表示内容や位置は目安であり、実際とは異なることがあります。

その他の表示

表示	意味
①	お知らせメッセージ(78)

索引

ア行

- 頭出し 24
- アフターサービス 91
- 印刷 62
- インフォリチウムバッテリー 83
- エンドサーチ 24
- エンドサーチ操作 47
- お知らせメッセージ 78
- お手入れ 81
- 主な仕様 89

力行

- 海外で使う 80
- 画質 40
- カセット 15, 81
- 画像サイズ 40
- 画像消去 60
- カメラコントロールリング 20
- 画面表示 95
- 逆方向再生 46
- 逆光補正 21, 76
- クリーニングカセット 87
- 警告表示 77
- 結露 86
- 誤消去防止ツマミ 81
- コマ送り 46
- コンポーネントビデオケーブル 26

サ行

- 再生 22
- 再生可能時間 12
- 再生ズーム 24
- 撮影 17
- 撮影可能時間 11
- 撮影可能枚数 41
- 三脚 94
- 充電時間 11
- 準備 7
- ズーム 19
- スライドショー 43

- 静止画 18, 23, 40

夕行

- タイムコード 95
- 対面撮影 21
- ダビング 55
- テープカウンター 95
- デュアル記録 19
- テレビで見る 25
- テレビ方式 80
- 電源コード 7, 10

ハ行

- パーソナルメニュー 31, 53
- パソコン 64
- バッテリー 10
- バッテリー残量 11, 95
- フォーマット(初期化) 42
- プリントマーク 61
- プロテクト 61
- 保証書 91

マ行

- メニュー 31
- “メモリースティック” 82
- “メモリースティック デュオ” 15

ラ行

- レックレビュー 25
- 録画操作 58

A

- ACアダプター 10
- AE SHIFT 36, 76
- ALL ERASE 42
- AUDIO MIX 48
- AUDIO MODE 48
- AUTOSLW SHTR 36
- AU. LVL DISP 49
- A/V OUT端子 25, 92
- A/V接続ケーブル 26, 55

B

- BEACH 34
- BEEP 52
- BLACK FADER 43

C

- CALIBRATION 87
- CAMERA COLOR 37
- CAMERA DATA 51
- CAMERA SETメニュー 34
- CANDLE 34
- CLOCK SET 13
- COLOR BAR 51
- COLOR SLOW S 38, 72, 76
- COMPONENT 50
- COMPONENT OUT端子 25, 92
- CONV.LENS 39

D

- DATA CODE 13, 51
- DATE/TIME 51
- DIGITAL ZOOM 39, 76
- DISP OUTPUT 52
- DOWN CONVERT 50
- DV SET 48
- DV規格 47
- D.EFFECT 44, 76

E

- EDIT/PLAYメニュー 46
- EXPOSURE 35, 76

F

- FADER 43, 76
- FILE NO. 42
- FIREWORKS 34
- FLASH 44
- FOCUS 37, 72
- FORMAT 42

G	
GUIDEFRAME	51
H	
HD(ハイビジョン)画質	26
HDMI OUT端子	25, 92
HDMIケーブル	27
HDV規格.....	47
HDV/DV端子	25, 92
HDV1080i.....	48
HISTOGRAM.....	39, 76
I	
iLINK	84
IMAGE SIZE	40
INDOOR	35
INT.REC-STL	43
iLINK CONV	50
iLINKケーブル....	27, 56, 58
L	
LANDSCAPE	34
LCD BL LEVEL	49
LCD BRIGHT	49
LCD COLOR	49
LCD/VF SET	49
LP	48
M	
Macintosh	64
MEMORY SETメニュー	40
MENU ROTATE	52
MIC LEVEL.....	49
MONOTONE	43
MOSAIC FADER	43
N	
NEG.ART	44
NEW FOLDER	42
NS LIGHT	38
NTSC	80
O	
OLD MOVIE	44
ONE PUSH	35
OUTDOOR	35
P	
PAL	74
PASTEL	45
PB FOLDER	42
PictBridge	62
PICT.APPLI.メニュー	43
PICT.EFFECT	44
PORTRAIT	34
Q	
QUALITY	40
QUICK REC	52
R	
REC CTRL	46
REC FOLDER	42
REC FORMAT	48
REC LAMP	52
REC MODE	48
REMAINING	52
RING SETTING	39
S	
SCENE SELECT	34, 76
SD(標準)画質	28
SELF-TIMER	39
SEPIA	44
SHARPNESS	36, 76
SHUTTR SPEED	36
SKINTONE	44
SLIDE SHOW	43
SMTH SLW REC	45, 76
SNOW	34
SOLARIZE	45
SP	48
SPOT FOCUS	37, 76
SPOT METER	35, 76
T	
TELE MACRO	37, 76
TIME/LANGU.メニュー	53
TRAIL	44
TWILIGHT	34
U	
USB SELECT	45
USB端子	92
V	
VAR.SPD PB	46
VCR HDV/DV	47
VF B.LIGHT	49
VF COLOR	49
VIDEO OUT	50
VOLUME	49
W	
WB SHIFT	37
WHITE BAL	35, 76
WHITE FADER	43
WIDE SELECT	48
Windows	64
WORLD TIME	53
X	
X.V.COLOR	39, 85

索引(つづき)

Z

ZEBRA..... 38

数字

1080i/480i.....	50
12BIT	48
16BIT	48
480i	50

商標について

- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- "Memory Stick"、"メモリースティック"、""、"メモリースティック デュオ"、"MEMORY STICK DUO"、"メモリースティック PRO デュオ"、"MEMORY STICK PRO Duo"、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、"MEMORY STICK PRO-HG Duo"、"メモリースティックマイクロ"、"マジックゲート"、"MAGIC GATE"、"MagicGate Memory Stick"、"マジックゲート メモリースティック"、"MagicGate Memory Stick Duo"、"マジックゲート メモリースティック デュオ"はソニー株式会社の商標です。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。
- i.LINK、はソニー株式会社の商標です。
- Mini  Digital Video Cassetteは商標です。
- "x.v.Color"はソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media、Windows VistaはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- Intel、Intel Core、Pentiumは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe Readerは、Adobe System Incorporatedの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

ライセンスに関する注意

個人的使用以外の目的で、MPEG-2規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIOの特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C., (住所: 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206)より取得可能です。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

